



経産省

総合職

内定者

BOOK

2023

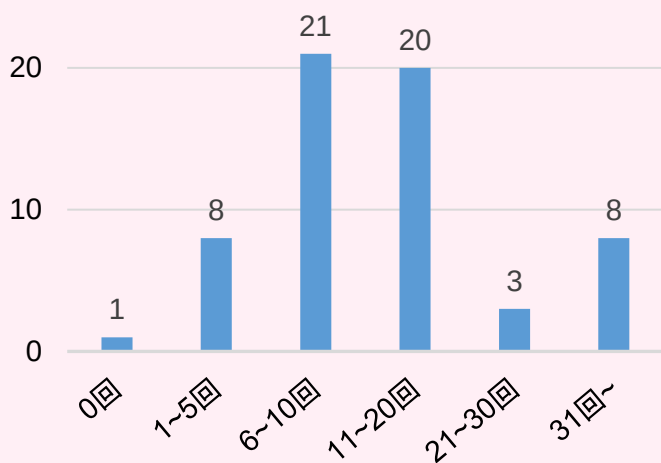


# 目次

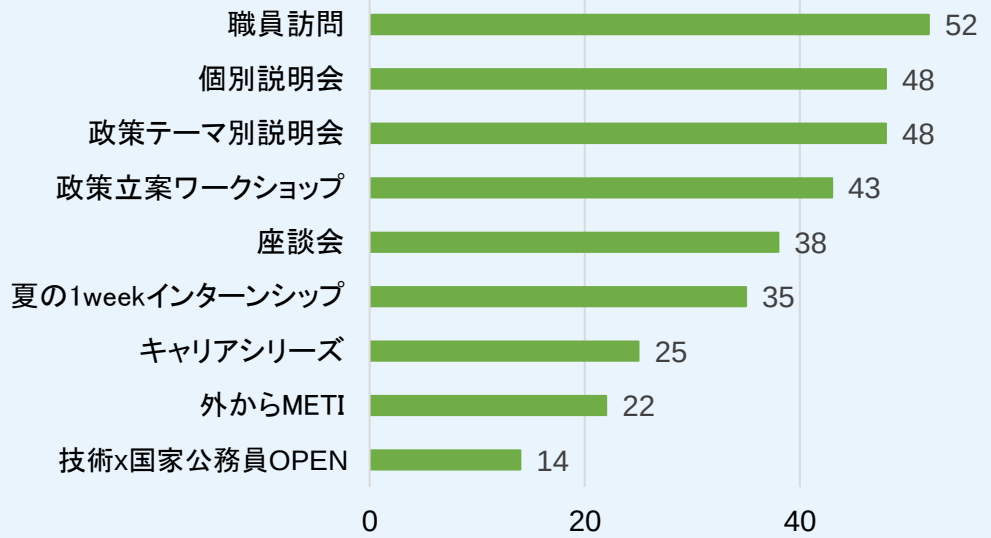
|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| ● イベント説明                           | 2  |
| ● 官庁訪問対策                           |    |
| ○ 官庁訪問                             | 3  |
| ○ どんな官庁訪問対策をしましたか？                 | 5  |
| ○ コラム：全理系学生に朗報！6月官庁訪問のすゝめ          | 6  |
| ○ 官庁訪問エピソード                        | 7  |
| ○ コラム：地方大学出身者に告ぐ                   | 9  |
| ○ ここと悩みました！                        | 11 |
| ● 採用担当からの一言アドバイス                   | 14 |
| ● 内定者が代わりに聞いてみた                    | 15 |
| ● 女性職員インタビュー                       | 16 |
| ● 今年の内定者はどんな人？                     |    |
| ○ 内定者丸わかりデータ                       | 18 |
| ○ 内定者アンケート                         | 19 |
| ● 番外編（ <a href="#">内定者BOOK別冊</a> ） |    |
| ○ 公務員試験対策                          |    |

# イベント説明

## イベント参加回数



## 各イベント参加状況



## 夏の1weekインターンシップ

長い時間をかけ政策立案に取り組み、経産省の業務の魅力を理解できる。

- 企業の方からヒアリングをするのが他省のインターンシップと比べて特徴的だと感じた。「現場主義」の一端に触れることができた。
- 同じ志を持つ人が見つかるので、どんどんさらけ出して仲間を作るととても実りの多い場になる。

## 政策立案ワークショップ

様々な課題についてどのような政策が打てるか考え抜く、政策立案型ワークショップ。

- ここで政策立案を一度やってみることで、現状の政策の課題が身に染みてわかるようになる。こうして得た問題意識を、他のイベントでお会いする職員の方にぶつけてみるというと思う。
- 拘束時間が長く、対面が基本なので地方在住者には参加しにくい。しかしグループディスカッションの練習、政策立案時の基本的な考え方の習得、同じ省庁を目指す仲間との出会いなどメリットが多いため、少なくとも1回は参加しておくとうい。

## 座談会

内定者や職員の方と、少人数で話す事ができる。

- 政策ではなく「人」に注視したイベントなので、職員の方の志望動機やキャリアに関する考え方などについて聞ける貴重な機会。
- 試験対策や民間就活・研究・部活等との両立、官庁訪問のことなどを聞ける機会が少ない地方大学出身者は1度でいいから参加しておくとう情報集めができる。

## こんな声も！

- イベントにはできるだけ参加した方がいいと思います(自戒を込めて)
- 個々の政策分野に関するイベントに参加したことがほとんどないまま官庁訪問を迎えてしまい、基礎知識で劣っていることを実感して苦しかった。オンラインも活用して時間を見つけて可能な限り参加すると良いと思う。
- 地方開催のイベントは顔を覚えてもらうチャンスだと思う！積極的に参加を！

## 政策テーマ別説明会

個別の政策テーマについて、最前線で担当される職員の方からお話を伺える。

- 短時間でホットな政策分野の知識や政策立案の過程を知れる密度の高い時間だった。
- 経済産業省の仕事は多岐にわたるため、できる範囲で多く参加すればするほどイメージが掴みやすくなると思う。
- 毎週のように別の職員の方のお話を伺えるため経産省のカルチャーへの理解も深まった。

## 外からMETI

大使館や地方自治体など、霞が関の外で活躍している職員の方から政策のお話を伺える。

- 現地のマインドや空気感といった文字で伝わりにくい部分までとてもよく理解することができた。そうした部分が海外の政策の背景になっていることもあると思うので、大変勉強になった。

## キャリアシリーズ

中堅職員のキャリアにフォーカスしたイベント。入省後のキャリアのイメージをつけたい方におすすめ。

- 職員の方の考えや価値観を知ることで、自分の考えや価値観を相対化して見つめ直すことができた。
- 志望動機に悩んでいる時はとても参考になる。推している職員の方が経産省を志望するまでのドラマを伺えて、大変胸熱でした。

## 個別説明会

少人数で職員の方とお話できる機会。政策について伺うだけではなく、進路相談や、志望動機を見ていただくこともできる。

- 聞きだそうとするだけでなく、自分の中の仮説をぶつける姿勢でいくとめっちゃくちゃ楽しいです。おすすめです。
- 志望動機に悩んでいる時はとても参考になる。推している職員の方が経産省を志望するまでのドラマを伺えて、大変胸熱でした。

最新のイベント情報は  
こちらをチェック！



<https://www.meti.go.jp/information/recruit/event/index.html>

# 官庁訪問

## 官庁訪問とは

官庁訪問は、二次試験合格発表後に行われる、国家公務員になるために必須のプロセスです。民間就活で例えるならば、業務説明会と面接が混ざったものと言えるでしょう。約二週間で集中的に希望省庁の職員の方々と面接を行い、省庁への理解を深めながら選考過程を進みます。全過程を突破すれば、内々定となります。

官庁訪問は、各省庁の採用プロセスであると同時に、訪問者が人生において進むべき道を決断し、志望省庁が自分と本当にマッチしているのか見極める機会でもあります。悔いのないよう全力で想いをぶつけ、楽しんでください！

## 官庁訪問の仕組み

官庁訪問は例年、6月末から7月頭の約10日間(土日も含めると約2週間)で行われています。全部で5つのクールに分かれており、それぞれで訪問できる省庁数が異なります。

|          |     |                                                                                                            |
|----------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1・第2クール | 3日間 | 第1志望から第3志望までの省庁を1日ずつ訪問する。<br>Ex.1日目A省→2日目B省→3日目C庁<br>※3省庁訪問しなくてもよい。1つや2つでも可。<br>※1クール内に同じ省庁を2回訪問することはできない。 |
| 第3クール    | 2日間 | 2日間設けられているが、初日に第1志望の省庁を訪問し、2日目は休む人が多い。つまり、この段階で志望を(実質)1省庁に定める人が多いと言える。                                     |
| 第4クール    | 1日  | 第3クールで訪問した官庁を訪問、内々定の一步手前                                                                                   |
| 第5クール    | 1日  | 内々定解禁！                                                                                                     |

### 〈7月官庁訪問〉

| 第1クール |     |     | 第2クール |     |     | 第3クール |       | 第4クール | 第5クール |
|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 1日目   | 2日目 | 3日目 | 1日目   | 2日目 | 3日目 | 1日目   | (2日目) | 1日のみ  | 1日のみ  |
| A省    | B省  | C庁  | A省    | B省  | C庁  | A省    | B省    | A省    | A省    |

### 〈技術系6月官庁訪問〉

| 第1クール |     | 第2クール(1日のみ) |    | 第3クール |
|-------|-----|-------------|----|-------|
| 1日目   | 2日目 | 午前          | 午後 | 1日のみ  |
| A省    | B省  | A省          | B省 | A省    |

※ 予備日あり

## 注意！

来年度の日程は確定していません。人事院のHPや経産省のHPを確認してみてください。  
また2022年9月1日に2023年に実施する試験から合格有効期限の延長がアナウンスされています。



スケジュール例

| 時刻    | 内容                                          |
|-------|---------------------------------------------|
| 06:30 | 起床。                                         |
| 08:30 | 到着。待合室で待機。                                  |
| 09:00 | ブース面談。メンターから一日の流れを説明される。優しく励ましてくれ、緊張が少し解れる。 |
| 09:30 | 待機。同じ机になった人と雑談。                             |
| 10:30 | 人事面接。志望動機、学生時代の取り組み、日本が抱える課題などを聞かれる。        |
| 11:00 | 原課訪問①。課長補佐からお話を伺う。情報量が多くて大変だった。             |
| 12:30 | ブース面談。原課訪問の感想や心境の変化を聞かれる。                   |
| 12:45 | 待合室で昼食。原課訪問で伺った話を整理する。                      |
| 13:30 | 原課訪問②。元々の興味分野のお話を伺う。                        |
| 14:30 | 待機。待合室にいる職員の方や学生のみennaと雑談。皆緊張がほぐれ和気藹々とした雰囲気 |
| 16:00 | 原課訪問③。あまり触れたことのない分野のお話を伺う。議論が白熱し、とても楽しかった。  |
| 18:00 | 待合室で待機。夕食をとる。疲れが溜まってきたが、お菓子を食べて凌ぐ。          |
| 19:30 | ブース面談。今日の感想や心境の変化を聞かれる。                     |
| 20:00 | 充実感とともに経産省を出る。                              |

※ブース面談・原課訪問等の回数・所要時間は人によって異なります

ブース面談

「メンター」の方との面談。官庁訪問中はメンターの方と二人三脚で進んでいく。10～30分ほどで志望動機の確認や、原課訪問の希望調査、お悩み相談などをしてくださる。

人事面接

秘書課の方とのとても重要な面接。自分の想いや志望動機をしっかりと伝えられるよう、万全の準備をしよう！

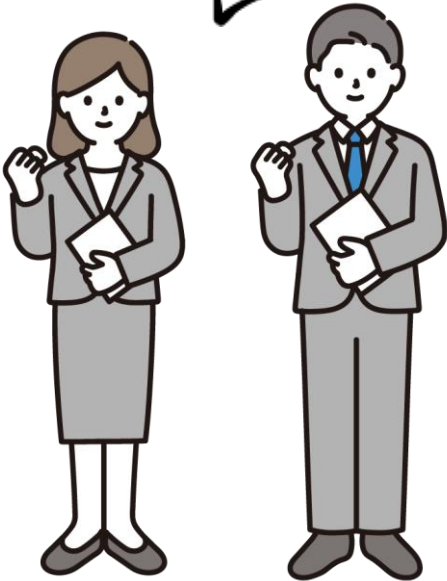
待合室

学生の控え室。面接や原課訪問以外の時は待合室で待機する。席は自由。飲食も可能。近くに座った人と雑談したり、職員の方に伺ったお話をノートにまとめたりしている人が多い。

原課訪問

職員さんから、政策や仕事内容についてのお話を一時間ほど伺う。質疑応答形式やディスカッション方式など、実施形式は人により多様。志望動機と一緒にブラッシュアップしてくれることも。成長の機会を逃さないよう全力で取り組みよう！

官庁訪問は緊張しますが、不安を乗り越えて仲間ができる場所でもあります。がんばって！

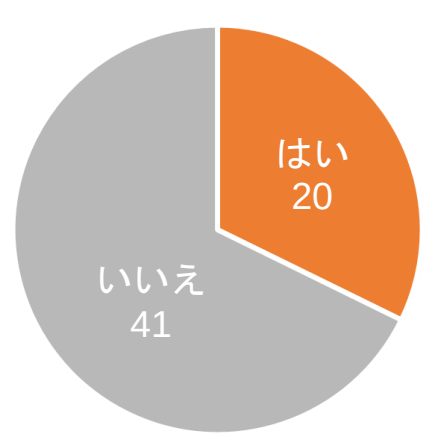


# どんな官庁訪問対策をしましたか？

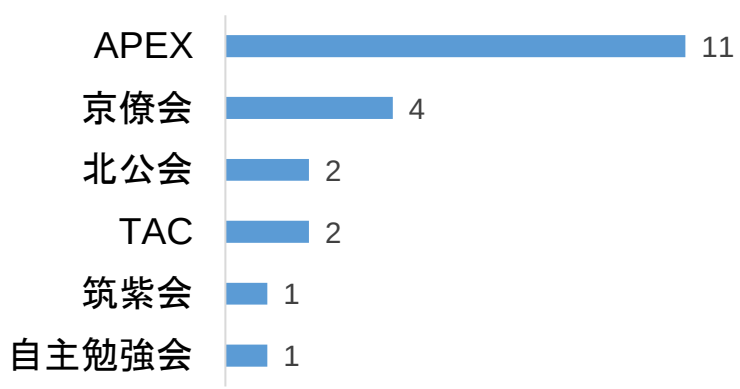
## 官庁訪問への準備

- これまでの経産省の説明会やイベントのノートを振り返った。
- 友人と勉強会を開き、志望動機等を深め合っていた。
- 志望者どうしで政策研究会
- 自分が関心のある分野について、「1人政策立案ワークショップ」を開催した
- これまでお話を伺ってきた職員の方のお名前を整理し、「どなたに」「何を」聞いたかを整理しておく。
- 民間企業の本選考で社会人と話す練習。
- カラオケで発声練習
- 8時間寝る。湯船に浸かる。

## 事前対策のため、官僚志望者のコミュニティに参加しましたか？



参加者の所属コミュニティ



### 〈参加者の声〉

- 同じ目標に向かって進む仲間の存在が大きな心の支えになった
- 様々な分野について能動的に学んだり、多くの志望者や内定者の方々と知り合ったりすることができる貴重な機会となった
- 知識が増えるだけでなく、志望動機の添削などにより、自身に欠けている観点を補えた。
- 官庁訪問対策に楽しく取り組める。他の人がどんな対策をしているのか知ることが出来るため、自分の対策の方向が合っているのか、努力の量が足りているのかなどを判断する際の目安になった。

- 官庁訪問についての情報に触れる機会が多いため、余裕を持って臨める。官庁訪問は情報戦の側面もある。
- 人事採用のプロフェッショナルから直接手ほどきを受けることができたから。

### 〈参加していなかった人の声〉

- 官庁訪問中の良きライバルであり同志となる人たちがどのような枠組みで思考し、どのように言語化しているのかを知ることはいいい刺激になるし、重要だと思う
- 参加しなくても特に困ることはなかったし、研究などと両立するうえでコミュニティに割く時間はなかっただろうと思う。

## 各団体の紹介

### ・ BOND（昨年度名称はAPEX）

中心大学：東京大学中心に、様々な大学の方が参加しています。  
連絡先：[bond2022.representative@gmail.com](mailto:bond2022.representative@gmail.com) にご連絡ください。Slackに招待します！

### ・ 京僚会

中心大学：京都大学を中心に、様々な大学の方が所属しています。  
連絡先：Twitter（[@kyoryokai](https://twitter.com/kyoryokai)）からメーリス登録フォームにご回答ください。

### ・ 北公会

中心大学：北海道大学を中心としています。法学部102室に遊びに来てください！  
HP：<https://www.hokukoukai.club>

### ・ 筑紫会

中心大学：九州大学を中心としています。他大生の参加も可能です。  
連絡先：公式LINE（[lin.ee/vNRDkAD](https://lin.ee/vNRDkAD)）を追加してください！

官僚志望者のコミュニティは、各大学に存在するようです。  
ここに載っていない大学の方もぜひ探してみてください！



# 全理系学生に朗報！ 6月官庁訪問のすゝめ

3頁を読んだ理系学生の諸君なら、6月官庁訪問の実施について「チャンスが2度ありそう」「クール数が少なそう」等の魅力に感じたのではないだろうか。事実、今年度に6月官庁訪問を行った12人へのアンケートでは全員一致で「6月官庁訪問を薦める」との答えだった。理系学生にとっては精神的・金銭的負担の軽減できるこの機会を是非利用しない手はないと筆者は考える。それでは実態に迫っていこう。

## ① どうすれば訪問できる？

今年度に6月官庁訪問するには、2022年6月までに

- 2021年度、又は2022年度に合格
- 工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産農業農村工学、森林・自然環境のいずれかで合格

の条件を満たす必要があった。

6月官庁訪問の活用方法について、以下に例を示す。...



## ② 7月官庁訪問と内容に違いはありますか？

ないと思われる。ただし、第3クールには第4・5クールが詰め込まれるイメージである。

## ③ 先輩方が感じたメリット・デメリットは？

### 〈メリット〉

- 日程の短さ

週を跨ぐ7月官庁訪問に対して、6月官庁訪問は10日以内で終わるのが魅力！選考のプロセスの短さで肉体的・精神的負担が軽くなることは明らかである。

さらに、地方からの大学生にとっては、東京滞在日数の短縮により金銭的負担も減る。「現在社会人なので取得有給数的にも日数の少ない6月官庁訪問しなかった」との意見も。

- 内々定の早さ

研究に勤しむ理系学生は、一刻も早く進路を決めて研究に専念したいところ。また技術系の民間企業は年を跨ぐ前に内々定を出すところも多く、「民間企業と指導教官双方からのオワハラ」を理由に6月官庁訪問を推す先輩もいた。

- 腰を据えて経産省や他省庁の理解に時間をかけられる

これは既合格のメリットでもあるが、そもそも公務員試験のあとは官庁訪問だけの状態となるため、説明会参加のモチベも変わるはず。ただし「進路があやふやなM1の時点で合格したいモチベーションを維持しておくのが難しいかも？」との意見もあり、モチベーションの維持が課題となるかもしれない。

### 〈デメリット〉

- 民間企業の面接との兼ね合い

今年度の6月官庁訪問の時期も民間企業の採用面接が集中した。内定者によっては6月頭にはほぼ毎日面接をこなすことになった者もあり、短期集中的に気疲れの多いイベントをこなさなければならなかった。同時に面接日程においても調整が必要な場面があり、面接の配分を工夫することが求められた。

## ④ 6月官庁訪問をした先輩からのメッセージ

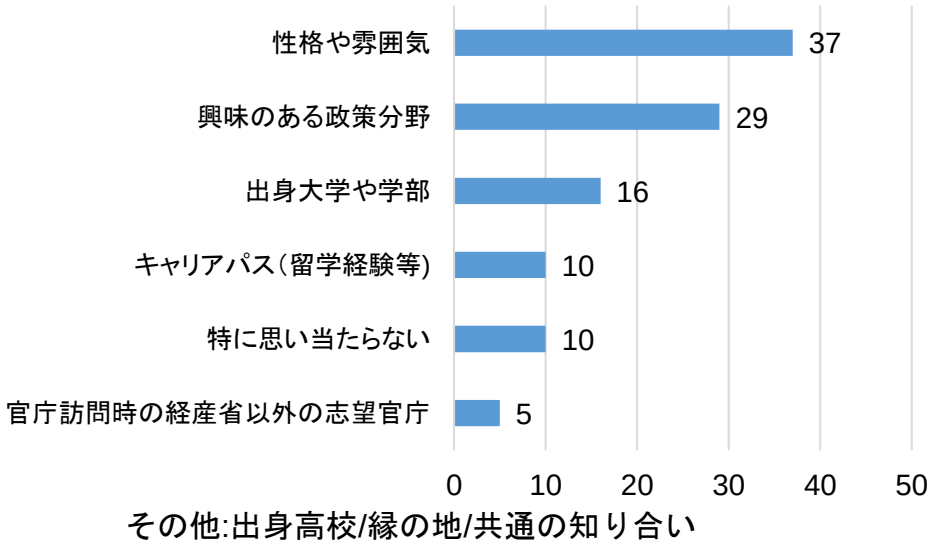
- 困難の中にチャンスはあるのだ(アルバート・アインシュタイン)
- 当たり前だが7月もあるという甘い気持ちで行ってはいけない。訪問中不安でいっぱいだし、原課訪問など準備していただいた職員の皆さんに対しても申し訳ない気持ちになる。
- 色々なチャンスを駆使して、ぜひ効率よく就活を進めてくださいね！
- 6月官庁訪問やってみ？？！！
- 公務員試験の合格をもらってから一年近く官庁訪問まで待ちの時間が続くかと思いますが、しっかりとその一年を官庁訪問で活かせるように継続的にイベント行くなどしてモチベを保つことが大事だと思います！精神的に辛いかもしれませんが頑張ってください！
- 意外と楽しいですよ
- 本来、筆記試験に充てるはずの時間を有効活用しましょう！職員訪問を通してMETIへの理解を深める、民間就活を通して外側からみたMETIを知る、特に後者は絶対的におすすめです。

# 官庁訪問エピソード

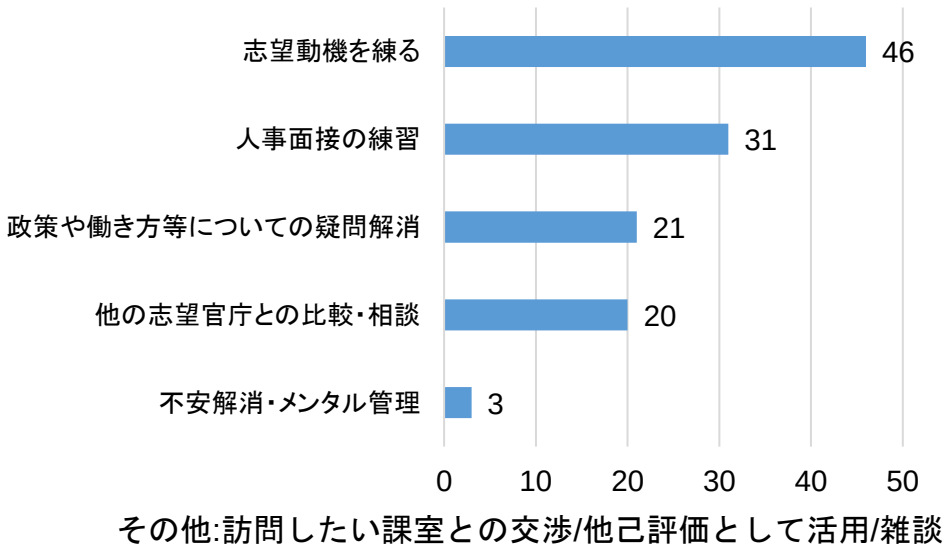
## メンター面談

- 志望動機に悩んだ時に電話で話を聞いてもらって、涙が出そうになった。
- 自分が他省庁と迷っている旨を伝えると、親身に話を聞いてくれた上で、フラットな立場から意見をもらえてとてもありがたかった。
- 原課訪問で混乱した頭の中を、一緒にブラッシュアップしてくださった。そのおかげで最後の方には余裕を持って話を聞き、伝えることができるようになった。
- メンターさん「我々は敵ではありません」
- とにかく、志望動機を壁打ちさせてもらいました。あれがなければ今の自分はいなかったなと感謝しています。
- 官庁訪問前に、悩んだら財務省にしようと考えていたと伝えた際、「それじゃあ、官庁訪問に参加した意味がない。官庁訪問は選ばれる場だけでも選ぶ場でもあるのだから、その機会を活かさないのはもったいない」という旨を言われた。
- 自分は民間就活の経験もなく、最初は本当に面接のなんたるかや志望動機の書き方など初歩的な部分からダメダメでしたが、メンターの職員さんのアドバイスや導きのおかげで2週間の官庁訪問の間にすごく成長させていただきました。
- メンターさんに自分のことを喋りすぎて、最後の方は多分メンターさんの方が私の自己紹介上手だった。

### メンターとの共通点



### メンター面談をどのように活用したか



## 原課訪問

- とにかく楽しむことを心がけた。すると知りたいことが自然と浮かんでくるようになり、緊張して臨むよりずっと良かったと思う。
- 「お前は公務員として何を成し遂げたいんだ」ということを1時間話し続けたことがありました。業務内容は聞けなかったが、どのような覚悟で働き、日本をより良くしていこうとしているのかを知れたことは本当に重要だったと感じています。
- 元々の興味分野ではない職員とお会いすることもあったが、「メンターさんはなぜここを選んだのか」「自分に足りていなかった視点はどこか」を意識して話を聞いた。
- お会いした職員さんは、とても知的でロジカルで、情熱を持って職務にあたられており、これほどまでに尊敬と憧れの念を感じた組織は他にはなかった。
- 職員の方が関わっている仕事や、就活などの人生相談をさせていただき、本当に優しい方ばかりでした。 最初に一番気になっていることや、不安に思っていることを軽く相談すると、それに沿ってお話のできたので、時間を有意義に過ごせました。
- 職員さんとの話が盛り上がりすぎて、秘書課の方から職員さんに電話がかかってきた時にキレ気味に電話に出ていたのが面白かった。
- 年次が高い女性職員の方とお会いした時、政策の話で盛り上がった後、さらに1時間人生の話をしていただけた。自分が専業主婦の母親がいる家庭で育ったので、子育ても大事な時間としてしっかり育休を取ってらっしゃる方がいてとても安心した。
- 最初原課面談で強面の方にあたり、志望動機を説明したところ、「もっとエモーショナルに話そうよ」と言われ、慌ててエピソードを一つ追加して喋ることにしました。以後の面接では原体験に関わるそのエピソードに多くの面接官の方が共感してくださり、(怖かったですが)最初原課訪問がその方で良かったなと思いました。
- 課長クラスとの面談で、質問を何度も聞き直したあげくわかりませんと言ったこと。かなり焦った。
- なぜ経産省？は何回も聞かれた。試してやろうというより、興味があるみたいな感じだった。
- これまで興味のなかった分野にも原課面談を通して具体的なエピソードや施策を聞くことで興味が沸いてきた。入省してからもこのような機会が多数あると考えるとワクワクしてくる。

官庁訪問では、自分の熱意をしっかりと論理的に相手の職員の方に伝えることができれば大丈夫だと思います。また進路について迷うこともあると思いますが、最後は理屈ではなく直感だと思います。自分も財務省と経産省とで相当悩みましたが最後は直感を信じて経産省を選びました。



## 人事面接

- 公益性って何だと思う？と改めて問われたじろいだ。
- 原課訪問時に聞いた政策の欠点やその政策によって不利益を被る人がいるのか？そもそもその政策をやる意味は無いのでは？と聞かれたことは印象に残っています。経産省がやっているからその政策は正だと思い込んでいましたが、必ずしも正ではないということを常に意識し、職員さんに対して疑った視点を持つことも大事だと気付かされました。
- あなたは逆境に強いですか？（強いです、と目をガン見して答えました）
- 「人生の最大のピンチはいつどんなことがありましたか？」という質問に対して「今です！」と即答したら面接官の人がしばらくツボってた。
- 自分に欠けている視点を的確に突くような質問をされた。印象に残っているのは「その政策について国会で説明するとき、どうやって野党を説得しますか」と、「そのシステムが存在していないのは企業が必要としていないからではないですか」という質問。ただし上記のような難しい質問の場合、その場で考え方のヒントになるようなことを言ってくれたので、それに気が付けるかどうかで答えの質も変わってくると思う。
- 終盤付近の面接で、「災害時にはとても責任のある仕事を請け負うことになる。その覚悟があるか」と問われた。原課で幾度も原子力に関するお話を伺っており、その時点ではすでに覚悟できていたので自信を持ってYESと答えられた。
- 官庁訪問を通して見つけた経産省の課題はなんだと思うか？という質問が1番答えにくかったです。

## 内々定の思い出

- 今までやってきたことが報われたと感じると同時に、身の引き締まる思いがした。
- なんだか照れくさくてにやにやしていた。あとから実感が湧いてきて一人で喜んだ。
- 感動の一言。自分の人生が大きく動いた感覚がありました。
- 内々定を頂いた時は実感が湧かなかったが、その夜に霞ヶ関の官庁街を見て来年からここで働くんだと急に実感が湧いてきた。
- 驚きすぎて頭の中の全てが吹っ飛んだ。気づけば「え、マジですか！？」と言っていた。
- やっと研究に専念できる...！と思いました笑
- これで一区切りとおもった反面、民間と迷う部分もあったので複雑だった。
- 喜びとともに、もっと勉強して経済産業省に貢献できる人間に成長していかなければという責任感も生まれました。
- 嬉しかったです。とても！

## 待合室

- かなり和気藹々としていた。
- いつも賑やかでした。たくさん友達ができ嬉しかったです。
- じゃんけんゲームのグリーンピースが信じられないほど強い人がいて、あまりの衝撃に笑い転げた。
- 「動物に例えると？を聞かれる」や「俳句を詠まされる」などのデマが流れ、大変焦ったがそんなことはなかった。
- 待ち時間でSPY×FAMILYを全話試聴し終わった。
- 二文字限定しりとりがハードだった。
- 民間企業や他省庁と迷っている人と話して、改めて経産省で働く決意が固まった。
- 元気にしていたら、いつの間にか元気くんというあだ名がついていた。
- 好きなお菓子をかき集めて独占した。

## その他

- エレベーターに乗り合わせた職員の方が、官庁訪問ですか？頑張ってください、と声をかけてくれた
- 次のクールへ進めるかの連絡が来るのを待ってる時間は生きた心地がしなかった。
- 第一クールの1日目、一番最初に呼ばれて待合室の視聴率100%でした。
- 対面の官庁訪問は自覚以上に緊張するものだった。第二クールのある時、手が震えていたらしいが全く自覚がなかった。
- 官庁訪問中、5回遅刻した（すみません...）
- 徳を積もうと考えて、コンビニの店員さんに元気に挨拶と御礼をした。きっと店員さんも嫌な気持ちにはならないと思うので、
- 原課訪問で名刺を置き忘れたと思ったらそもそももらい忘れていた（後でいただいた）。その後に訪問した友達は普通に置き忘れていた。
- 「おなかすいた～」と言っていた横の方に、コンビニで買っていたおにぎりをあげて、その代わりに本をもらうという物物交換をしました笑 最後は一緒に内定！ばれるので本は積ん読せず最後まで読もうと思います笑
- 昨年の内定者パンフレットに「朝向かっている途中、鞆の紐がちぎれた」と書いている方がいて、その時は正直「そんなことあるんだ～」くらいの感想だったが、自分にもその災難が降りかかってきて驚いた。
- アパートのエアコンが壊れたため、第3クール以降は友人の家から官庁訪問に臨んだ。
- スーツセットを下宿先に忘れ、前日夜の東京入りなのでどうしようもなく、東京駅のユニクロで買った。
- ズボンのチャック全開で過ごしていた。

# 地方大学出身者に告ぐ

このコラムは地方大学出身者の地方大学出身者による地方大学出身者のためのコラムである。地方大学出身の諸君に朗報なのだが、今年度内定者の内15人（約4分の1）は地方大学出身者だ。しかしながら、今年度の地方大学出身内定者の意見ではやはりある程度の障壁があることは否めない。アンケートの結果によって導かれた共通項はすなわち、

1. 官庁訪問中、不慣れな土地での戦いによる経済的・肉体的・心理的負担
2. 情報量の少なさ。横（同期の経産省志望者）と縦（例えばOB・OG）との繋がりがなかなかできない

となった。そこでこれらの不安の払拭を少しでもすべく、実践可能性が極めて高い1にフォーカスしたコラムを書いた。

昨今、オンラインの説明会等が増えているとはいえ、官庁訪問においては諸君は霞が関に足を運ばなければならない。本章では交通と宿について質問形式で記した。諸君の官庁訪問中の手引きとなることを想定しており、諸君にはさっさとこの課題を片付けて官庁訪問対策に専念できることを期待している。

## Q. 官庁訪問中の交通費をなるべく抑えたいのですが...

### A. 定価は把握できてますか？

「安さ」は「快適性」とのトレードオフなのを忘れずに。

上京手段について納得感を持って選ぶには定価を把握することが第一歩である。そして官庁訪問にかかる資金を概算的に導くことである。通常上京手段を選ぶ際には、「安い」が所要時間の短さや快適性に劣る」又は「高い」が所要時間が短く、快適で柔軟である」ものが存在しており、どちらかを取るかの選択を迫られる。アンケートの結果から、地方大学出身内定者はメリットデメリットを加味しつつ、上手く活用していることがわかった。

## 新幹線 vs 高速（夜行）バス

圧倒的速達性、本数の多さと快適性の新幹線と圧倒的値段的安さだが体への負荷がネックである高速バス。また夜行バスを選べば、車中泊により宿代を浮かす技もある。メリット・デメリットは後述する「先輩の声」を参照。

## 飛行機

### (LCC vs non LCC)

LCCは運賃の安さが魅力だが、都内から成田空港への交通費や預け入れ荷物の追加料金（特に7月官庁訪問は荷物が増える傾向がある）を加味すると、必ずしも安く移動できない場合がある。さらに、non LCCであっても75日より前の予約であれば、LCCより安いことがあるため、既合格の諸君は是非検討されたい。また、20代前半向けに、当日空きがあった場合に限りかなり値引きが設定された運賃もある。

## 先輩の声

- 行きはストレス軽減重視で新幹線に。帰りも新幹線にしましたが、官庁訪問後半は肉体的にも精神的にもかなりゆとりがあったので、コスパ重視で夜行バスで良かったかも。
- 行きに夜行バスを利用すると身だしなみを整える余裕がなくなりがち。ネットカフェなどでシャワーを浴びられる程度の余裕のあるタイムスケジュールで動くべきだった。
- 夜行バスで節約することもできましたが、感染症や眠れないリスクもあるので、万全の体調で挑むために交通費は惜しまないようにしました。
- 東京での移動は出来る限り徒歩にした。東京でやむを得ず交通機関を使う時は、この悔しさを忘れないようにした。
- 6月期官庁訪問だったので、交通費支給のある民間企業の面接にあやかった結果、飛行機代の負担はありませんでした。
- 地方から行くとき・帰るときには荷物が多くなるので、LCCよりはnon LCCのそれなりに手荷物の預け入れ・持ち込み制限が緩い航空会社を使うのが賢明かと思います。
- 春試験受験組は、合格発表日と官庁訪問初日の近さから、ホテルや交通手段をキャンセル料覚悟で予約せねばならない。



## Q. 官庁訪問中の宿選びのアドバイスください！

A. 「霞が関まで徒歩圏内か」「ホテルの設備はどうか」「周辺施設（特に飲食店）の充実度はどうか」を軸に選ぶとGood。  
早めに手配できればなお良し。

一つ一つについては後述する「先輩の声」に。考察する前に、共通の懸念事項である実際にかかった値段と宿泊した場所について整理しよう。

## いくらかったのか？

アンケートの結果、以下の通りである。

最安値は4000円/泊 最高値は8500円/泊 平均値は5667円/泊

## 宿泊先はどこに集中していたのか？

霞が関までの所要時間については、徒歩・公共交通機関共に30分を超える場所に宿を取った内定者はいなかった。割合としては、徒歩圏内の場所に泊まった者の方がやや多かった。

もし徒歩圏内の手配が厳しい場合は、経済産業省のアクセスに最適な、東京メトロ千代田線・日比谷線・丸の内線沿線（霞ヶ関駅利用）又は東京メトロ銀座線沿線（虎ノ門駅利用）といった乗り換えの必要のない路線沿いが最適だろう。ある内定者からは「複雑な交通網に翻弄され、官庁訪問中に遅刻してしまった」との反省も。加えて、公共交通機関を使う場合には最寄駅からの距離も短い方が望ましい。

さて、宿泊先の好みは個人によるが声を大にして主張したいのは、やはり徒歩圏内であるということである。「官庁訪問中に乗る予定だった地下鉄が停まった。徒歩でも行けるところに取っておいてよかったと思う。」という言葉に端的に現れていると筆者は感じた。

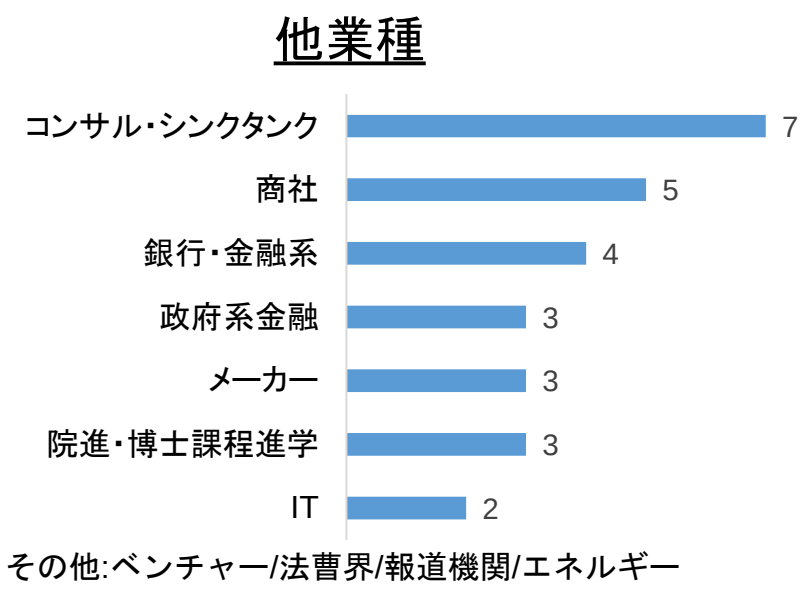
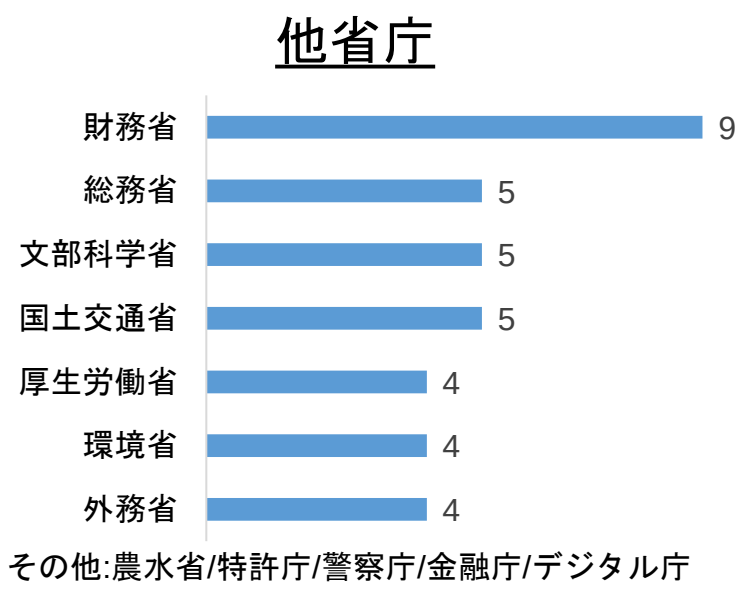
## 先輩の声

- 赤坂見附はデジ庁も徒歩圏内なので予算に余裕がある人はおすすめ
- ホテルで朝にオムレツを食べると心が整うので、朝食付きのプランをおすすめします
- どれだけ騒がしくても眠れるのでカプセルホテルに泊まって節約。だが、大浴場はマスト！シャワーだけに比べて疲れの取れ方が違う。
- 霞ヶ関への近さと、部屋の広さなどのQOLは意識。多少値が張っても絶対に個室。宿HPの写真と異なり部屋に机がなく、勉強がしづらかったのが後悔。確認しておくべきだった。
- ホテルでなく個室のホステルをチョイス。超早期(2月)から予約。※教養区分のため可能だった。正直、官庁訪問中は帰りが遅くなることがありますし、時には精神的にも疲れることがあると思います。そのため、宿泊地・ホテル等にはコストをかけるという意識の方が、個人的にはいいのではないかと考えています。

## 地方大学出身内定者からのメッセージ

- 地方はむしろアドバンテージだと捉えて頑張ってください。
- 学生だと経済コストが手痛いと思うので、予算の確保はしておきましょう
- 色々な障害はあるかと思いますが、それに見合う面白さがあると思います！ぜひ挑戦を！
- 地方だから不利ということは僕はないと思います！自分を信じて、ファイト！
- この際東京観光やと思っていくといいと思います。
- だいじょうぶ！
- 東京に拠点がなく、宿泊施設など普段とは異なる環境で臨まれる方は、美味しいものを食べてリフレッシュするなど、心身の健康を大切になさってください 地方から挑戦される皆さんを心から応援しています！
- 官庁訪問中は全ての荷物を持って移動するため、スーツケースを持っていると転がすはめになる。そのため、泊まったホテルに預かってもらうかコインロッカーの位置を把握しておくことが重要。おすすめは霞ヶ関駅A13番出口だが、万が一満杯の時のためにバックアップも取っておこう。
- 大学の所在地を理由にして進路を狭めてしまうのは、本当にもったいないことだと私は思います！地方の大学生・大学院生頑張れ！
- インターンや説明会などを通じて志を同じくする仲間をみつけて頑張ってください！
- わざわざ来てやったのだぐらいの心意気で行きましょう！笑
- 地元が心地よい人も、そうでない人も一度霞が関に来てみませんか？いろんなものが見えますよ

ここと悩みました！



財務省

(迷った理由)

- 政策の幅広さ、大きな権限と責任を持って日本のグランドデザインを描ける点。
- より将来世代を意識して、業界に縛られることなく政策を立案できる。
- 優秀な職員が多い。

(経産省を選んだ決め手)

- 三日目にどちらに行くべきか死ぬほど悩んだが、日本経済が低迷する今、日本を変えるポテンシャルがあるのは経産省ではないかと感じ、経産省を選んだ。
- 個人としての環境が魅力的なのは経産省だった。「財務省」という組織がやっている仕事は極めて魅力的だが、組織の中で働く個人には限界が多すぎると感じてしまった。巨大な組織の中の力学に結局逆らえないのだなと感じる場面が多かった。
- 現場のミクロ視点から、日本や世界をマクロな視点で捉えることまで、広く携われる経産省に傾きました。
- 財務省も本当に魅力的だったが、経産省の方が圧倒的に肌に馴染んでいるような感覚を覚えた。自分が働いている姿がより明確にイメージできた。
- 割と迷いましたが、最終的には、「どの視点から政策立案に携わりたいか?」「霞が関内における相対的な立場として、挑戦をしていくか責任を持つか?」という二つの質問を立て、自ら政策課題をアクティブに設定し、0から物事を挑戦的に動かすという姿勢に直感的により魅力を感じたため、経済産業省にしました。

総務省

(迷った理由)

- 総務省は夏のインターンからお邪魔していて、職員の人柄が本当によく、自分と相性もよかった。
- 地方の産業に関心があり、総務省は地方への出向の機会の多さなどが魅力的だなと思っていた。
- 自分の専門分野を活かせそうだったことや、経済産業省とは職員の方のキャラクターが違うように感じたことで迷いました。
- 通信の競争政策にも興味があったので迷いました。

(経産省を選んだ決め手)

- 関心分野の大部分を経産省が所掌していることもあり、最後はわくわくする、面白そうという直感で決めた。
- 直接産業政策ができる点と、挑戦を後押ししてくれる雰囲気を経産省を選んだ。
- 本当にやりたいことができそうであり、また官庁訪問を通じて一番成長できたのは経済産業省だったように思ったので、経済産業省に決めました。
- 決め手は経産省の所管分野の幅の広さと、熱意を持った職員の方の多さです。

国交省

(迷った理由)

- 自分の専門性を生かすことができる点、交通インフラの整備を通して、フィジカル面で日本と世界を結ぶことに貢献できる点で魅力的だった。
- 国交省の職員さんの気質が前職の陸上自衛隊に似ており、居心地がよかったため悩みました。
- 国土交通省は特に興味のある航空・運輸分野の所管官庁であり、自分の過去の経験を直接的に活かせそうだと考えていた。

(経産省を選んだ決め手)

- 特定分野にとらわれず、広い視野を持って、その時代時代に必要なアクションをより柔軟にとることができるのは経産省だと思った。職員さんの熱意にも惹かれた。
- 未来の同期がいる待合室での雰囲気やダントツで好きだったから。
- 特に興味を持っていた航空・運輸業界は特に他の産業分野とのつながりが深い業界であり、日本の産業全体を見据えて将来に向けた施策を打っていく必要がある。官庁訪問を通して、自分が持っていたこのような視点が、経済産業省での考え方・捉え方と近いという確信を得た。



## 文科省

### (迷った理由)

- 官庁訪問で会った同期になるかもしれない人たちがすごくよかった。
- 文科省から熱烈なコールを受け、文科省から見た経産省の欠点も沢山伝えられた。
- イノベーションに携わりたいという思いがあり、シーズとなる技術の研究開発の支援や、人材育成のフェーズに携わるには文部科学省がベストであり、社会実装寄りのフェーズだと経済産業省が強いという点で迷った。また文部科学省は大学や研究機関を所管しており、政策実行の現場を持っている点に魅力を感じた。

### (経産省を選んだ決め手)

- 研究者の待遇改善に興味があった。実際にインターンに行き、研究室を外へと解放する必要を感じ、それには企業を巻き込む経産省の方が合っている気がした。
- 文部科学省の面接官の中で数名かなり保守的な考えの方がいたため、大学改革などの改革はやりづらいのかなという印象があった。新しいことをバリバリやっていこう！という経産省の方が合っていると思った。
- 自分がやりたいことのうち経産省でできないことはほとんどないが、文科省でできないことは多かった。
- 最終的な決め手は、働いている職員さんにより強く魅了されたことだ。話を聞くと、いつも新鮮さと新たな発見や驚きがあり、未知の世界の広がりワクワクした。
- 官庁訪問をしていくにつれ、公教育だけでは、人間の力を引き出し、日本社会をよりよくできるという確信が持てなくなった。幅広い選択肢を残すため、自由な経産省を選んだ。

## 厚生労働省

### (迷った理由)

- 自分の働きが人の幸せに繋がっていると確信できる場所で働きたいという思いがあった。立場的に弱い人の生活・幸福に寄り添った仕事ができ、元々興味があった医療分野に関われるという点で魅力を感じていた。

### (経産省を選んだ決め手)

- 結局国民の生活を支えていくためには経済の立て直しが不可欠であること、自分の個性が入ることにより社会を動かそうと感じたこと、改革的な風土を持っていてここなら何かを変えられそうだと思えたことが、経済産業省を選んだ決め手となった。
- 大前提として、最初のクールで落ちてしまったので、悩む選択肢がなかった。そんな中で、ヘルスケア課の職員の方の話を伺い、弱者救済は厚生労働省の特権ではないと考えようになった。社会的弱者のために働くという価値観を、経済産業省でも満たせると感じ、官庁訪問を頑張れた。

## 環境省

### (迷った理由)

- 特に興味のあった気候変動政策と福島復興政策に、経産省・環境省どちらも関わっていたため悩んだ。特に前者について、(少なくとも現時点では)「経済」と「環境」は必ずしも対立する価値でなくなっていると感じており、非常に悩んだ。
- 正直、経産省の官庁訪問は暖簾に腕押し感があつた一方、環境省では良くしてくださったこと、やりたいことは両者ともにあつたのでとても悩んだ。
- 自分がメインでやりたい経済と持続可能性の追求がリンクする領域の仕事はどちらの省でもできると感じたため悩んでいた。

### (経産省を選んだ決め手)

- この国のために何ができるかというよりマクロの視点から考えたとき、「環境」という切り口からできることの限界からフラストレーションを感じそうだし、経済産業省を選んだ。どの職員の方からも「この国をより良くしたい」という熱い心が感じられたことにも惹かれた。
- 様々な分野で挑戦ができそうなこと、ご職員さんがずっと魅力的に感じていたこと（環境省のご職員さんもいい方々ばかりでした）、国富拡大というミッションと自分の軸が近かったことです。
- 自分のメインでやりたい政策領域以外の政策分野に配属された場合のことを考えた時に、環境よりも経済の方が関心度合いが高かったから。

## 外務省

### (迷った理由)

- 高校生の時、外務省の短期プログラムでマレーシアに滞在したことがあり、マレーシアの日本大使がとてもかっこよかったから。
- 元々平和に興味があったから。
- 外務省においても中心的な政策分野であるルール形成に興味があったから。

### (経産省を選んだ決め手)

- 国富の拡大というミッションの重大性と職員の方々の熱意や率直な姿勢。
- 在外公館で働きたいと思ったが、外務省以外にも外交官になれると聞いたので、政策のスタンスとして共感しやすい経産省にした。
- 国内への目線・つながりもルール形成の前提にあると考えていたところ、経済産業省のほうが外務省よりも国内を意識して行動しやすいと思ったから。
- 外務省の方から、「外務省のミッションは昔から変わることがないが、経済産業省のそれは変化し続けている」といった指摘を、外務省に肯定的な文脈で受けた際に、ミッションは時代に応じて変化すべきものであるから、経済産業省のほうがあり方として正しいのでは？と疑問に思ったことです。



## コンサル

### （迷った理由）

- 普段の働き方と、働いた分の対価（収入）
- 人々が楽しく前向きに働ける環境づくりに興味を持って組織領域のコンサルを志望していた。

### （経産省を選んだ決め手）

- 中小ベンチャー企業のような、コンサルティングの対価を支払えない企業まで支えられるから。
- 官庁訪問で出会った同期の志が高かった。
- コンサルでは、①個別の案件で取り組みが終始すること、②（極端な言い方をすれば）企業の利益があくまで最優先であること、③「働く」という領域以外の社会課題にはなかなか取り組みにくいこと、などが懸念事項となり、社会の構造を変えることで企業が自発的に従業員の幸せに投資する仕組みが作れたり、様々な領域の社会課題に取り組む機会がある経産省を選んだ。
- 待遇や若手からの活躍という面では、民間企業よりも経産省の方が優れていると感じるところもあったから。
- 低いテニユアでは論点設計ができず、タスクベースでしかバリューが出せないため。

## 院進・博士課程

### （迷った理由）

- 自分の専門を極めて学位を取りたい気持ちがあった。
- 自分の専攻が日本では珍しく、このまま日本で研究者になるという道もあるのではないかと、悩んでいました。

### （経産省を選んだ決め手）

- 研究は場所を問わず年齢も問わず取り組めるが、公務員は年齢制限があり、いつでもなれるわけではないため。公務員になってから留学に行って研究に従事するのもありだと思いました。
- 経済産業省でできる仕事のスケールの大きさ
- 院進の先のキャリアが分からなかった。また、自分は学びを深めるより実際に物事を動かしたいのではないかと感じた。

## メーカー

### （迷った理由）

- 知り合いの多さと外から見た職場環境。
- ものづくりの最先端に技術者として立ちたいというのは幼少期からの夢であったため、そこからは一歩離れたところから貢献することになる公務員という仕事に納得できるか自信がなかった。
- メーカーの研究開発職では、大学での研究がダイレクトに活かせるが、経産省では自分の手を動かして研究や開発は行うことはない点で悩んだ。

## 金融機関

### （迷った理由）

- 給料とワークライフバランス
- 初速の成長曲線の勾配が大きい。PJやケース単位でアサインされるので職域の流動性が大きい。

### （経産省を選んだ決め手）

- 自分が5年後に死ぬと仮定した時に、納得感を持って死ぬるのは経産省だと思った。
- プロジェクトそのものに関わりたいのか、より高い視点でルールを作っていきたいのかを今一度考えた結果、経済産業省に決めた。
- 個別の投融资案件の積み上げで日本経済を盛り立てていく金融機関の仕事のやり方より、成長戦略策定などマクロ的に日本経済の停滞打破につながる政策を立案する経産省の仕事のやり方に、より共感を覚えたため経産省を選んだ。

## 商社

### （迷った理由）

- 圧倒的給料、海外に沢山赴任できる、働く環境の良さ、お世話になった方々との相性。
- プレイヤーのなかでもロビーイング力や与信力、業界との強いネットワーク、イノベーションを標榜する経営姿勢に大きな可能性を感じ惹かれたから。スタートアップでは手が届かない領域や変革が起きにくい産業領域に入り込み、ビジネスの仕組みという視点から変革を起こせると感じたから。
- ビジネスのオーナーとして現場を深く理解することができるため、商社で現場を知ってから霞ヶ関に行く方がいいように思えた時期があった。

### （経産省を選んだ決め手）

- 国という立場だからこそ携わることのできる仕組みづくりや経験できる分野の幅の広さ、同期（になりうる人）との相性、留学可能性が商社よりかなり高いこと、自分らしく働くことができそうな環境（相性）。
- 自分の動く論理は民間の論理と同じではないと思ったから。商社のインターンで「一銭でも多く稼げ」と言われたことがあり、民間の動く論理はあくまでも利益だと感じた。自分は見返りを求めずに動いてしまうタイプなので、自分とは動く論理が違うと思った。

### （経産省を選んだ決め手）

- 民間就活や説明会への参加を通して、自分は技術者と公務員どちらのほうが良い仕事ができそうかという点で考え、公務員のほうが良い仕事ができるだろうという感触を持つに至った。
- 一度きりの人生でどんなことに挑戦して、何を成し遂げたいか考えた結果、より社会に大きなインパクトを与え、多くの人と関わりながら働ける経産省を選んだ。





# 採用担当からの 一言アドバイス



## 採用担当はこんな人

### 事務系



#### 尾崎 洸

- 入省12年目
- ルールメイキングに興味
- これまで通商政策局やサイバーセキュリティ課を経験
- 最近は子育てにかかりっきり。ワインに詳しい

#### 田中 佑典

- 入省11年目
- 日本を課題解決先進国にして世界も日本も豊かにしたい
- 課題解決産業の振興(再エネ、自動運転)などを担当
- 趣味はランニング、温泉・サウナ



### 技術系

## 席次やイベント参加数って大事？

**尾崎** 席次やイベントへの参加数は採用に全く関係ないです。席次は気にしないでいいですし、イベントには志望動機を練るため等の目的を持って参加してほしいです。

**田中** とにかく自分が合格しやすい試験区分で受けてください！官庁訪問中に職場訪問をする機会がありますので、官庁訪問への飛び込み参加も歓迎です！



## 人事面接での評価ポイント

**田中** 世界や日本の課題を自ら解決したいという思い、やりきる責任感、論理的に思考しコミュニケーションする意識、チームの仕事に貢献できるかなどです。

**尾崎** どのような社会課題に対して関心があるのかは様々ですが、何故その社会課題なのか、何故経産省なのかを面接官にしっかり示すことが大切です。調査票には、これらを面接官にアピールしやすい経験を書くといいです。



## 読者に伝えたいこと

**田中** 研究の企画・実行のプロセスと、新しい政策・事業の企画・実行のプロセスはいずれも同じ理想の姿を描いて、その実現に向けた課題を解決するという点で同じです。研究を経験される理系の皆さんは、産学官どこでも活躍できる素養があります。産学官など様々な選択肢を広く見た上で、将来のキャリアを決めてもらえるとよいと思います！

**尾崎** ぜひ自分と向き合ってください。皆さんがこれまでにした選択・決断を振り返ってみて自分の価値観や軸を言語化してみるとよいと思います。自分を見つめなおして自分を知った上で経産省の仕事とフィットすればぜひ経産省へ！



曖昧な想いから明確な志望動機を作り出す時に、削ぎ落とした気持ちも貴方にとってとても大切であろうから、忘れずにどこかに留めて置くと良いと思います。自分と向き合うのは辛い作業だけど、頑張ってください。



## Q. ずばり、留学の中身はどうやって決まる？

「行政官として成長し国に還元できること」が条件。  
それ以外は、行き先も専攻も基本すべて自由！

# 留学

## Q. 留学中のお金事情は？

授業料と別に、生活費に充てられるくらいの給料はもらえます！

## Q. 留学と結婚・出産の両立は難しい？

留学は5～10年目で行くので、結婚・出産との兼ね合いは万人の悩みですね…。  
両立が簡単、とは軽々に申し上げられませんが、工夫して両立している先輩も沢山いるので、その点は安心してください。秘書課としても、出来る限り1人1人のキャリアプラン・ライフプランに寄り添いたいと思っています。

気になる  
あれやこれ、

## # 内定者が代わりに聞いてみた！

## Q. 配属部署はどのようにして決まるのか？

職員への年一回の希望調書と配属先面談を通じて把握する各職員の希望と、国・省全体の政策ニーズ（ニーズも大きければ人も必要）を踏まえてマッチングします。

# 仕事

## Q. 仕事と家庭の両立は？

チームでの助け合いやテレワークの活用。  
組織で働くということは、常に一緒に仕事をしてくれる仲間がいるということでもあるので。

公務員の仕事は激務っていうイメージがあるかもしれませんが、土日は休めますし、テレワークの活用も結構進んできています！



## Q. 第三クール初日、どうやって一つの省庁に絞るか？

自分の直感（楽しい・違和感など）とその理由を言語化し、共通点・相違点を整理すると、自分が大事にする軸が見えてきます。

直感的にも、論理的にも、ここが一番となったところが天職です！

# 就活

## Q. 官庁訪問を楽しむコツは？

職員になったつもりで、  
積極的なディスカッションを楽しんで！

## Q. 中途採用でなく新卒で省庁に就職する意味は？

20代半ば～後半で社会課題解決のリーダーとしての経験が積めることです。

入省3～4年目頃から、自分がリーダーを務めるプロジェクト・政策領域を持つことができ、経済社会システムをデザインし、産学官の多様な関係者を巻き込んで、社会課題を解決していく経験を積むことができます。

それでも悩むこともあると思いますが、正しい選択をするより、人生振り返った時に、選択した道が正しかったと言えるように頑張ることの方が重要ですので、最後はえいやで決めちゃってください！



## Q. 他省庁との連携業務での経産省の強みは？

経産省は「霞ヶ関のアクセル」の役割を担っていて、何かを変える社会イノベーションを起こす際に真っ先に動き、全体を俯瞰しながら、関係する様々な省庁を巻き込んでいくところが強みだと思います。

# METI  
# METI

ありがとうございました！



# 女性職員インタビュー

## ～「正解」は1つじゃない！～

霞ヶ関を志す女子学生にとって、就活を進める中でやはり気になるのは働き方。特に、ライフイベントや留学など、キャリアとどう両立させればいいのかイメージが湧きづらい部分が多いと思います。女子内定者としては、できるだけ情報提供のお手伝いをして、少しでも多くの女子学生の方に経産省の門戸を叩いてほしいと思っています！

そこで、今回は内定者が先輩職員にご自身のキャリアについてインタビューしてきました！

入省5年目。  
資源エネルギー庁 電力・ガス事業部  
電力産業・市場室 室長補佐。  
これまで資源・燃料政策、通商政策  
(対中関係) 等に携わる。  
今後留学等を検討。

入省15年目。  
貿易経済協力局 通商金融課 総括補佐。  
これまで通商政策(WTO、経済連携)、  
法律改正、インフラ輸出、資源外交等に携  
わる。  
人事院留学(ロースクール)や産休・育休  
の経験あり。



清水 真美子 さん



加藤 直子 さん

この方たち  
に  
お話を伺いました！

### Q. 最初に、お二人の志望動機を教えてください。

**清水さん**：ISILの日本人人質殺害事件を機に日本が世界の喧騒の中にあることを痛感し、「日本人の生を守りながら豊かにしていきたい」という思いで国家公務員を志し、中でも経済は人の生を豊かにもするし殺しもしうる点でここに最たる責任を抱き、この国を何とかしたいと考え経産省を志望しました。また、**経産省の国内外に拡がる業務の多様さや手段の多彩さ**にも惹かれました。

**加藤さん**：途上国問題等に関心を持っていましたが、国の将来に一義的に責任を持つのは各国であり、また日本の将来への貢献が世界の将来への貢献にもつながると考え国家公務員を志しました。中でも**現場との近さ・具体的な結果を意識して仕事ができる点・人に魅力に感じて経産省を志望**しました。

### Q. キャリアとライフイベントの両立や、育休のタイミングはどうすればいいでしょうか？

**加藤さん**：6,7年目に米国ロースクールに留学しました。帰国後2年ほどで結婚し、その後しばらくして産休育休を10ヶ月取りました。留学のタイミングについて、子連れで留学に行く方もいますが、**勉強や課外活動に集中できたため、自分のタイミングに後悔はありません**。産休育休のタイミングについても、いくつかポストを経験してから子供を持ったため、若手で省内の自分の評価が確立していない時に休むよりも、焦りが少なかったと思います。**若く身軽なうちに、忙しい部署や自分の希望部署、留学をすると多様な経験ができる**と思います。

## Q. お子様が大きくなったら、また忙しい部署に戻りたいなどのご希望はあるのでしょうか？

**加藤さん**：幼い子供がいる今、残業前提の働き方はできないし、したいとも思わなくなりました。子供の優先順位が1番になり、働き方への意識が変わったかもしれないです。また、最近は残業しなくても有意義な仕事ができるようになるなど、周りの状況も変わっています。

## Q. 清水様はご自身のキャリアプランについてどのように見通しを立てられていますか？

**清水さん**：キャリアプランでは、加藤さんと同じことをイメージしていたので励まされていました笑。若くて自由の効くうちになるべく多くのツールを学びたいと思い、初期配属では第一希望の資源・燃料部政策課に行きました。若手に仕事を任せる経産省の文化もあり、若い時に色々な経験をしたいと思っていましたし、実際に経産省の若手に仕事を任せる文化は本物だったと感じています。今後、留学に行くことを考えていますが、それまでに一人の人間として信頼されるようになりたいです。留学のタイミングは迷いましたが、数ポストを経験し専門性を身につけてから行くことに決めました。留学では、自分の軸である安全保障やエネルギー分野について専門性を深めることに集中したのち、次のライフステージに行きたいと考えています。

## Q. ライフイベントや留学を考えるにあたり、理想のタイミングはあるのでしょうか？

**加藤さん**：留学のち結婚・出産という自分のキャリアに後悔はありません。結婚・出産はご縁なので、最適なタイミングを決めるのは難しいかもしれませんね。

**清水さん**：関心ある業務分野があるのなら、若手のうちから挑戦すべきだと思います。最近の経産省は同部署に複数回配属されることもありますし、他部署で多角的な視野を獲得しながら、自分の軸中心のキャリアを築くことができるのではないのでしょうか。

## Q. 少し突っ込んだ質問になりますが、ズバリ育児に祖父母（ご自身のご両親）の協力は必要になるのでしょうか？

**加藤さん**：お互い仕事の忙しい時期を調整しながら夫婦でできるだけ分担しつつ、どうしても難しいときは祖父母の力を借りている、というのが現状です。周りで地方出身の人は、在宅勤務を活用したりベビーシッター等のサービスを利用したり。それぞれ状況に応じてなんとかやりくりしています。

## Q. 働き方に対する価値観が変化したことはあったのでしょうか？

**清水さん**：経済産業省はかなりいい方ですが、霞が関全体を見ていると、せっかく思いを持っていても働き方のせいでやめてしまう人がいたり、効率的でないために良い政策作りへの時間を取れていなかったり…。そのような霞が関の現状への危機感から、入省3年目で他省庁の同期と「ミライの霞が関」という団体を立ち上げて活動していました。働き方への価値観にメスを入れるには、オール霞が関で変わっていかなければならないと感じています。

今回伺った貴重なお話が就活生の皆さんのお役に立てれば幸いです！

一方で、内定者としてお話を伺う中で、

「働き方・人生には1つの正解はなく、自然体で今を一生懸命頑張る」ことが大切な要素だと感じました。

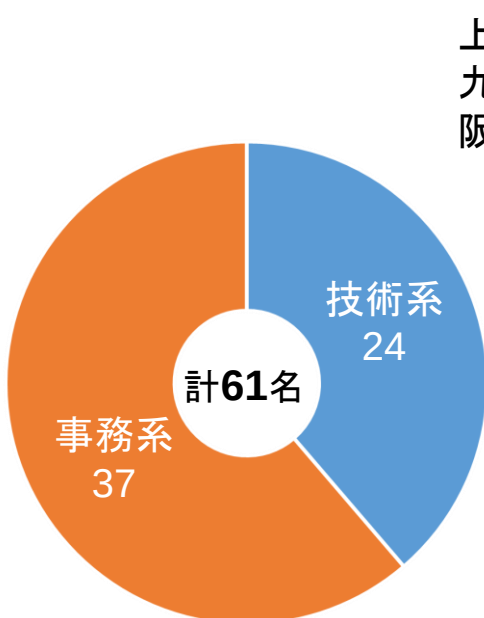
経産省にはお二人の他にも、活躍されている女性職員の方々がたくさんいらっしゃるので、もっとお話を聞きたい方はぜひ経産省のイベントにお越しください！



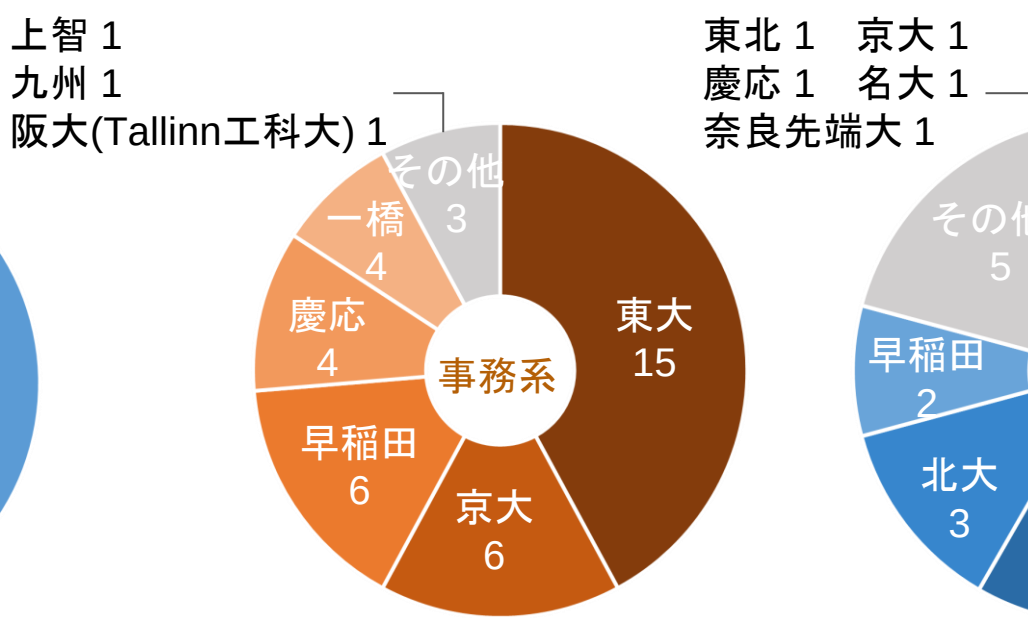


# 内定者丸わかりデータ

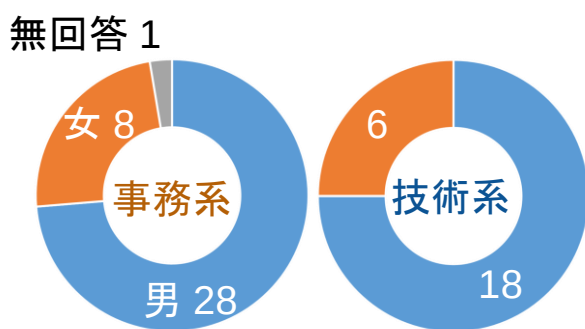
## 文理比



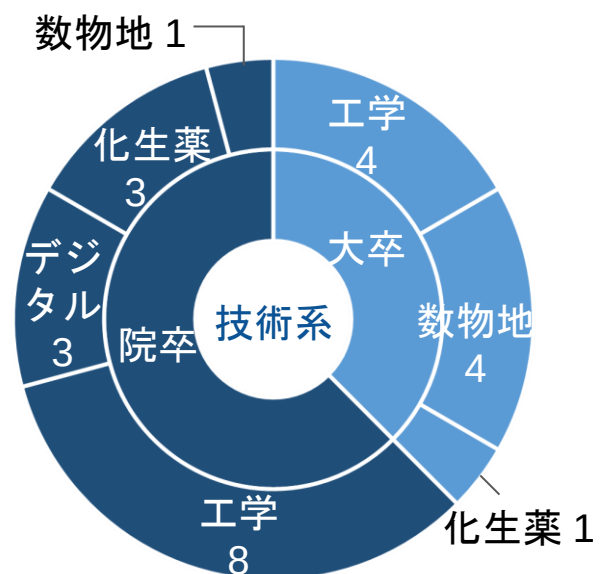
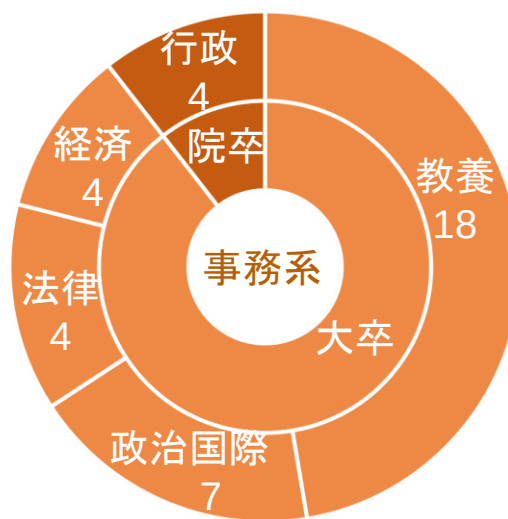
## 出身大学 ※ 院も含む



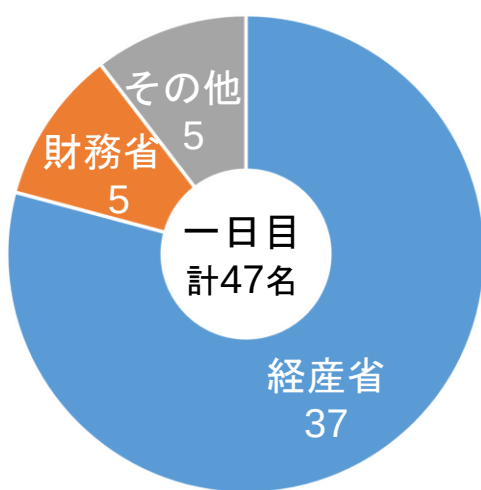
## 男女比



## 受験区分



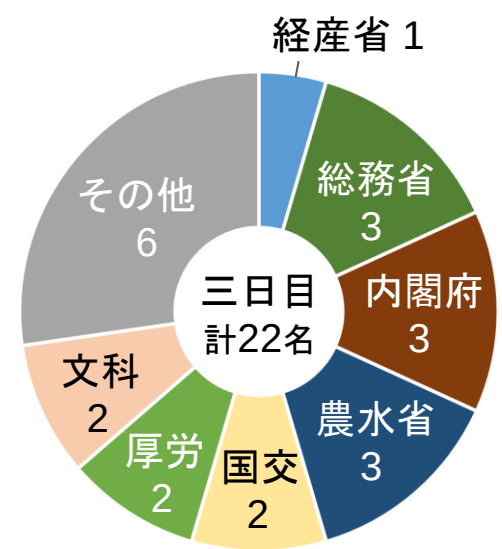
## 訪問省庁(7月期 第一クール)



その他:文科 2/外務 1/厚労 1/特許 1

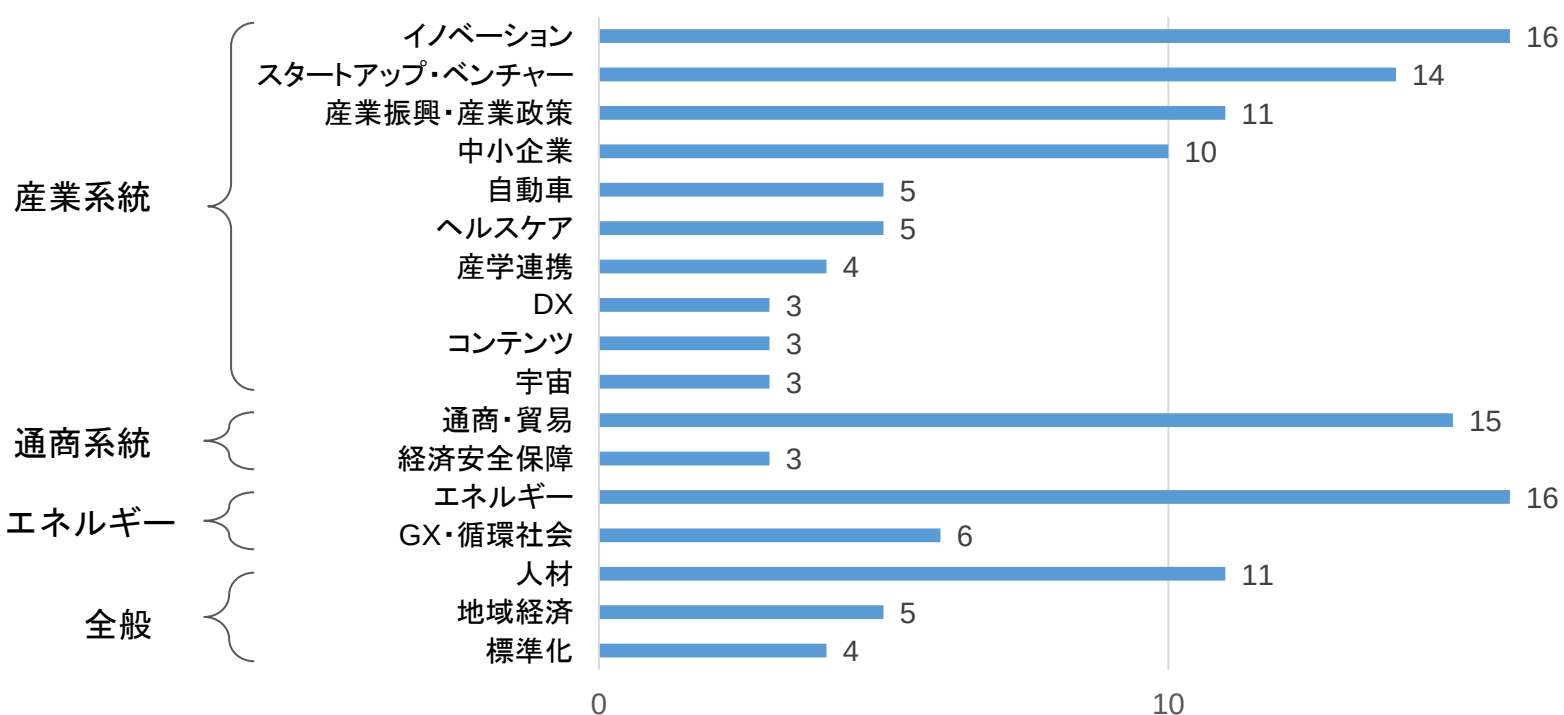


その他:文科 2/国交 2/警察 1/デジ 1



その他:財務/外務/金融/防衛/デジ/公取 各1

## 興味のある政策分野



その他:バイオ/規制改革/知財/情報経済/インフラ輸出/原子力/福島復興/技術開発/核融合/物流/健康経営

# 内定者アンケート

Why METI?

番号

試験区分

事務系赤  
/技術系青

名前

出身大学/大学院・学部

所属団体（サークル、バイトなど）

興味のある政策

訪問官庁/  
併願先

内定者プロフィールの見方！

|              |    |
|--------------|----|
| # 内定者のハッシュタグ | 写真 |
|              |    |

## 志望動機①（Why public?）

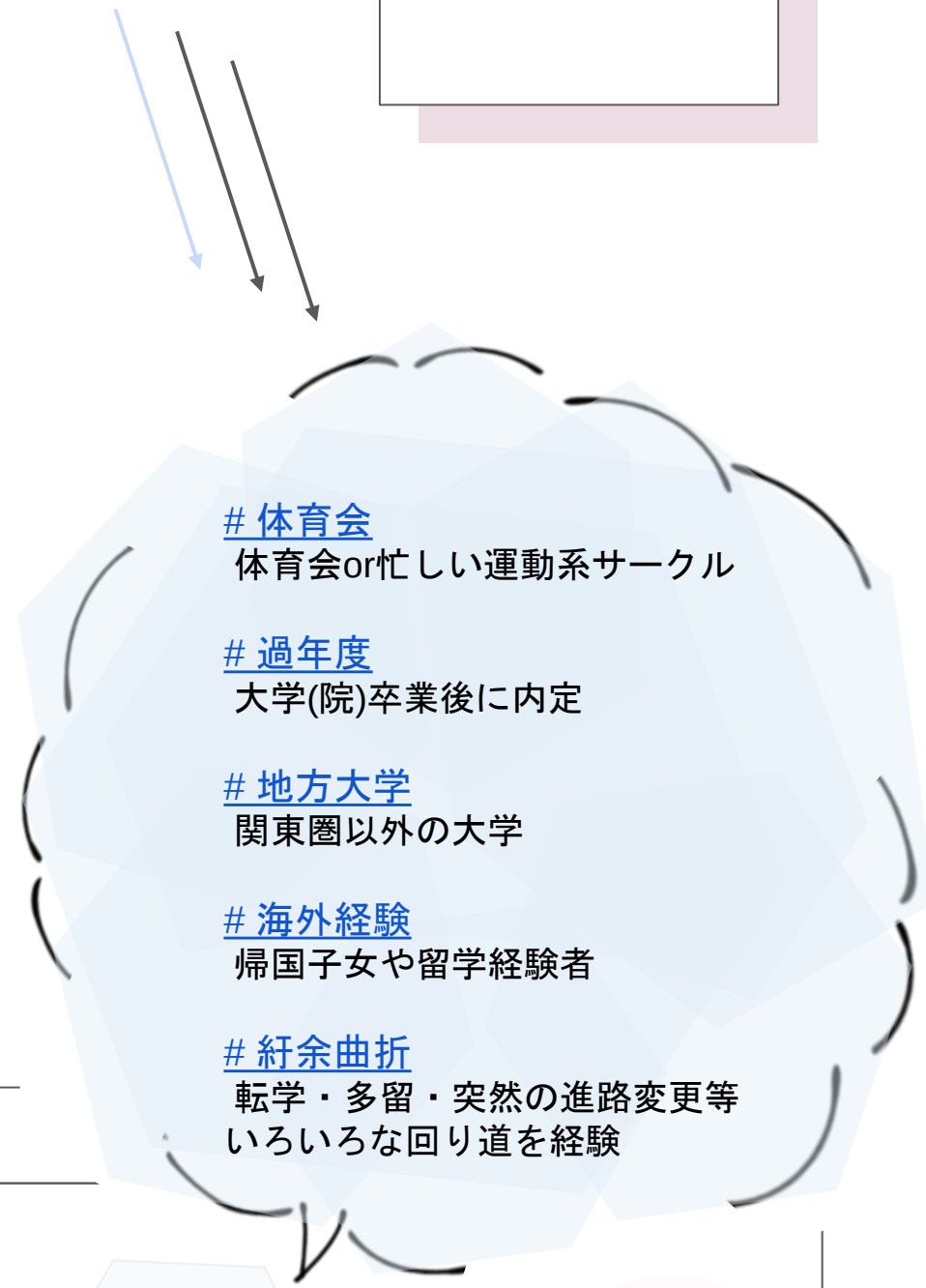
志望動機① なぜ国家公務員を志望したか？

## 志望動機②（Why METI?）

志望動機② なぜ経済産業省を志望したか？

## 内定者一人ひとりのオリジナル質問

それぞれが自分に宛てて考えた質問&答え



meti\_23naiteisha

こんな人たちがいます！

# 地方大学  
1, 2, 5, 10, 33, 36, 37, 40, 43, 44, 47, 50, 57, 59

# 体育会  
1, 6, 11, 15, 16, 18, 28, 29, 30, 31, 32, 35, 37, 41, 46, 53, 56, 60

# 海外経験  
4, 8, 23, 27, 30, 33, 34, 36, 38, 46, 49, 51, 52, 55, 59, 60, 61

# 紆余曲折  
13, 21, 22, 26, 30, 33, 34, 40, 41, 43, 45, 46, 48, 50, 54, 55, 59, 61

# 過年度  
28, 45, 48, 55

meti\_23naiteisha ♥ 61likes 💬 23comments

内定者のハッシュタグ一覧だよ！気になるところの数字をクリックしてみてね！^  
# METI志望者と繋がりたい



大卒、教養区分

1

ウェイキング

京都大学法学部

# 体育会  
# 地方大学

- > 男子バレーボール部
- ♡ 原子力政策、人材戦略、スタートアップ支援
- 🏢 外務省/  
広告代理店、総合商社

## 志望動機①（Why public?）

①帰属する団体の利益に縛られずに社会に貢献したいと考えた。②生涯を通じて社会貢献したいという思いがあり、ファーストキャリアとして最適だと考えた。

## 志望動機②（Why METI?）

①多岐にわたる分野を所掌しており、社会の趨勢を見渡しやすい/課題を発見しやすいと考えた。②他省庁と比べてもいい意味で役人らしくない人が多かった。

## なぜ民間企業ではなく国家公務員を選んだのか？

民間企業/国家公務員という区分けはせず、選択肢の1つとしてMETIを位置づけていました。もちろん国家公務員試験は特殊な採用プロセスですが、官庁訪問対策は他の企業の企業理解や面接対策と同じように行っていました。選択肢や視野を広げるためにも、民間就活も並行することをおすすめします。

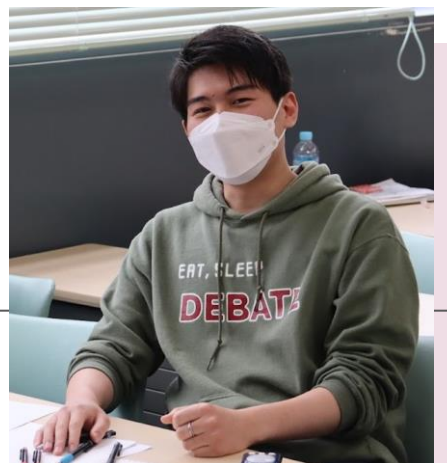
大卒、教養区分

2

えのもん

九州大学共創学部共創学科

# 地方大学



- > ESSディベートセクション
- ♡ 地域経済産業政策、中小企業政策、通商政策
- 🏢 財務省/  
政府系金融

## 志望動機①（Why public?）

これまでの人生経験と個人的な性格として、利益追求というよりはより複雑な公益（国益?）について考え、実現していくという仕事が向いている&自分がやっていて楽しいことなのではないか?と考えたためです。

## 志望動機②（Why METI?）

現状維持を続けていれば日本がジリ貧であることは間違いなく、ドラスティックな変化が公益の実現に重要であると考えており、そのような挑戦を霞が関の中でも推し進めているのが経済産業省だと感じたからです。さらに、他の省庁よりも早い段階から大きな仕事ができそうだという点も志望理由です。

## 地方出身者はどのように官庁訪問で戦うべきか？

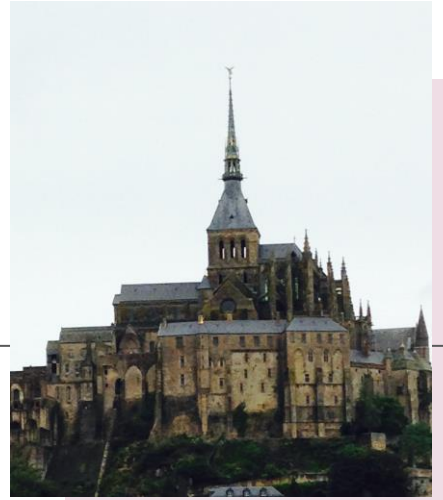
（地方の方だけではありませんが、）成長力とエピソード力を武器にして戦うのがいいのではないかと考えています。具体的に言うと、前者の成長力は、地方であり頻繁に霞が関に行けないからこそ、官庁訪問中に死ぬほど成長する、後者のエピソード力は、東京にいてはなかなか触れられないご当地日本の課題エピソードを志望動機に関連させるというものです。

大卒、教養区分

3

M.Y

早稲田大学政治経済学部経済学科



- > 特になし
- ♡ 中小企業政策
- 🏢 総務省（自治）、金融庁/  
政府系金融

### 志望動機①（Why public?）

個社の利潤追求よりも人の暮らしを軸に全体最適を追求したかったから。そのためには制度の中のプレイヤーではなく制度を作る側、改善できる立場に行きたいと思った。

### 志望動機②（Why METI?）

①多岐にわたる分野を所掌しており、社会の趨勢を見渡しやすい/課題を発見しやすいと考えた。②他省庁と比べてもいい意味で役人らしくない人が多かった。

### サークルやバイト等のガクチカがなくても大丈夫？

大丈夫です！私自身サークルには所属しておらず、バイトも多少してはいましたがそれをガクチカとして自分から書くことはしませんでした。ガクチカは何を学んだか、何を身につけたかが語れるネタであれば大きさやインパクトを気にする必要は無いと思います。

大卒、教養区分

4

でいー

東京大学法学部第1類（法学総合コース）

# 海外経験



- > バレーボールサークル、手品サークル、現代国際法研究会、法律系学生団体等
- ♡ スタートアップ、自動車、通商
- 🏢 財務省（本省）、総務省（自治分野）/  
総合商社、金融機関、IT系事業会社等

### 志望動機（Why METI?）

幼い頃に海外に住んでいた経験や、高校生の頃海外大に進学するか迷った経験から、「日本が若者にとって希望を持てる国であり続けるために、国際競争力の維持・向上に貢献したい」と考えていた。その実現のためには民間含め様々なアプローチが可能だが、①自社の利益に縛られず何が国のためになるのかを正面から考えたい②不確実化する社会の中で国はどうあるべきかという問いに挑戦したいという2つの観点から、経産省を志望した。

### 民間就活の経験が活かしたことは？

大きく3つの点でありました。1点目は、「なぜ経産省か」「国だからこそできること（できないこと）は何か」を自分の中で実感を伴った形で明確化できたこと。2点目は、面接慣れしたこと。3点目は、自分でその業界について調べたり、様々な方からお話を伺ったりする中で、それぞれの産業の現状や展望を知れたこと。以上のように、官庁訪問中はもちろん入省後にも役立つであろう貴重な経験を沢山させてもらえました。



大卒、教養区分

5

## デンプシー（猫）

京都大学法学部

# 地方大学



- > テニスサークル、軟式野球サークル、スキーサークル
- ♡ スタートアップ、産業政策、通商政策...
- 🏢 外務省、農水省/マスコミ、金融

## 志望動機①（Why public?）

1. なんとなくカッコいい、2. 自分の目利き力に疑問がある、の2点。1. については官僚という言葉の響きも、やれる仕事の大きさもまたカッコいい。2. について。現状、仕事はこの先の人生の大半を預けるものだと思うが、VUCAの時代でも比較的「生きながらえる」仕事を自分には見つけられそうにない。

## 志望動機②（Why METI?）

色々なことに手を出せる守備（攻撃？）範囲の広さと、入口の段階では多様な人を受け入れてくれる寛容性が理由です。飽きっぽい自分には色々出来た方が良く、人と同じことをあまりやりたくない自分には画一性が押し付けられない方が良かったと思います！

## 尊敬する動物は？

猫です。自分に正直で自由気ままでいながら、熱心なファンを生み出し続ける姿は憧れます。そういう处世術を身につけたいニャー(ΦωΦ)

大卒、教養区分

6

## ぴ

東京大学法学部第一類

# 体育会



- > KPOPダンスサークル、フリーペーパー制作サークル、テレビデータSaaSインターンなど
- ♡ コンテンツ、イノベーション、産業人材（、通商）
- 🏢 商社、銀行、デベロッパー、メーカー

## 志望動機①（Why public?）

国という立場だからこそ、純粹に公益を中心に据えかつ長期的な視点に基づいて行動でき、また皆が動く大元の枠組みを考えるという面白さがあると感じたからです。

## 志望動機②（Why METI?）

日本の経済的なプレゼンスを向上するために、ビジネスで頑張っている人を応援していきたいと考えたためです。特に、今後国益を高めていくには海外マーケットへの進出は1つ大きな論点であり、例えばスタートアップやコンテンツ系の海外進出の土台を作ることに貢献したいと感じました。

## 官庁訪問を本当にしようと思った時期はいつ？

実は4年の6月初旬です。それまでは民間企業が第一志望だったので終活を考えましたが、改めて民間終活を終えてみてあまりしっくりこなかったのと、官庁・民間どちらも経験されている方にお話を伺って自分が本当に大切にしたいことがわかったのが、調査書締め切り1週間前でした…。慌てて友人と対策をして非常に焦りましたが、ぎりぎりまで悩むことが納得のいく職業選択につながると思うので後悔はしていません！

大卒、教養区分

7

ksxx.1

東京大学法学部第一類



- > Climate Youth Japan
- ♥ エネルギー、通商
- 🏢 財務省/  
商社、銀行、政府系金融

### 志望動機①（Why public?）

社会課題に対して、公益性を純粋に追求しながら解決を図ることが出来るという点

### 志望動機②（Why METI?）

エネルギー政策を通じて、持続可能な社会を実現したいと思ったから。学生時代に所属していた環境系NGOでの活動から、気候変動課題におけるエネルギー分野の重要性を痛感するとともに、課題の現場に立って解決に向けた舵取りを担う経産省の役割に魅力を感じた。

### 民間就活との両立はどうだったか？

教養区分での合格を頂いていたため、4月から6月の初旬までは民間就活(業界幅広く企業研究から面接対策)を中心に取り組みました。官庁訪問の本当に直前までやっていたため後に肝を冷やすことになるのですが、民間就活を通じて個別面接を様々な経験していたことは官庁訪問での緊張を和らげる材料にもなり、大変助かりました。

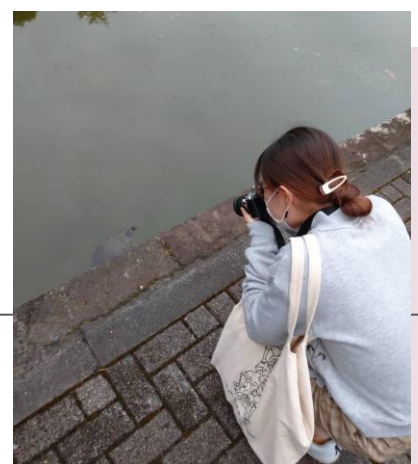
大卒、教養区分

8

M.E.

一橋大学経済学部経済学科

# 海外経験



- > 公文式教室、JR
- ♥ エネルギー、循環社会
- 🏢 財務省、総務省/  
商社、IT

### 志望動機①（Why public?）

短期的な利益よりも、マクロな視点での日本の将来を考えたいと思ったから。  
研究している開発経済学のような社会奉仕的な事業に携わりたいと考えたから。

### 志望動機②（Why METI?）

自分のしたいことが定まっていなかったからこそ、関係する省庁や産業、使えるツールが多い経産省に魅力を感じた。経済や市場の力で課題を解決することに興味を持ったから。

### 官庁訪問の時の心持ちは？

学生だからこそお話を伺える人とたくさん会えるから、勉強する気持ち！  
自分の身近な例や課題に繋げて新しい知識を得る場！



大卒、教養区分

9

さいだい

早稲田大学創造理工学部社会環境工学科

塾講師、家庭教師、スプラトゥーン研究会  
 人材・教育、地方創生  
 文部科学省/  
 特になし



### 志望動機①（Why public?）

昔から、何か大きなことがしたい、またどうせなら人のためになることがしたい、と漠然と考えていました。その中で国家公務員という選択肢に気づき、面白そうだと感じたのが志望したきっかけです。

### 志望動機②（Why METI?）

とにかく職員の方々の熱意や自由闊達な雰囲気の魅力を感じたからです。なんとなく参加したインターンで、人生でかつて見たことがない程スマートな職員の方々に出会い、憧れ、ここで働きたいと考えるようになりました。

### 説明会には参加した方がいいのか？

可能なら参加するべきです。知識をつけることはもちろん、友達ができるという利点があります。知識は必ずしも官庁訪問に必須なものではないですが、あるに越したことはない気がします。また、友達はとても大切です。官庁訪問についての情報収集にもなりますし、一緒に対策もできます。私はあまり参加しなかったため、知識も友達もなく、官庁訪問中ずっと不安で泣きそうでした。

大卒、教養区分

10

ぬーん

京都大学法学部

# 地方大学

学園祭事務局、教育系学生団体  
 スタートアップ政策、地方政策、ヘルスケア政策  
 総務省(情報通信)、厚生労働省/  
 銀行



### 志望動機①（Why public?）

より良い社会について、他人事や他責でなく考える人でありたいから。その上で、国にしかできないことや、業務で及ぼすインパクトの大きさ等を魅力に感じた。

### 志望動機②（Why METI?）

関心分野を所管しており、また経産省が持つ経路依存性にとらわれないリーダーシップの形が社会課題解決に最も有効であると考えているから。あと、「課題解決官庁」という二つ名がかっこよかったから。

### （特に地方勢に向けて）公務員志望者が周りに少ない中、どうやって官庁訪問対策をすれば良いのか？

春試験が終わると、さまざまな団体の官庁訪問対策会が始動し始め、オンラインで多様なサービスを受けられるようになりますし、仲間もできます。しかし、6月以降どれほど内容の濃い対策（政策研究・面接対策）ができるかは、正直にいうと集まったメンバー次第です。早めに対策を開始したいのであれば、予備校に課金するか、省庁の説明会等に積極的に対面参加するなどして仲間づくりをすると良いと思います。

大卒、教養区分

11

うおる

東京大学教養学部教養学科超域文化科学分科  
表象文化論コース

# 体育会



- > 運動会弓術部、弁論部、塾講師
- ♡ イノベーション、中小企業、規格標準化
- 🏢 財務省/  
総合商社、銀行、政府系金融機関

### 志望動機①（Why public?）

長年叫ばれている課題が未だ解決していない日本の状態を横目で見過ごすことができなかったから。また、幼少期に医者を目指すも「目の前の一人しか救えない」と感じ、より多くの人にアプローチできる仕組みや構造を作る側に回りたいと思ったから。

### 志望動機②（Why METI?）

霞ヶ関のアクセル役として攻めた変革を起こせと思ったから。何よりも、お会いした職員の方全員が素敵な熱意をお持ちで好きだなと思ったから。

### 志望動機をどうやって完成させたか？

私は志望動機の言語化に苦労しました。2年夏から通い詰めたのにも関わらず、まともな志望動機が完成したのは官庁訪問直前でした。志望動機書けないよ！という人は、Why public?とWhy METI?の2つの質問にとことん向き合ひましょう。自分史を書いてみるのもおすすめです。職員の方の志望動機で共感するものがあれば参考になると思います。経産省への熱い思いがあれば最後は絶対自分の言葉で言えるようになります！

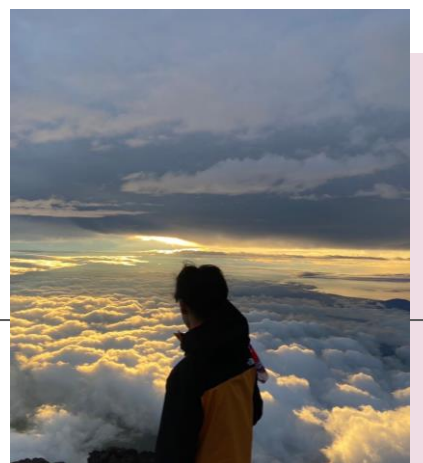
大卒、教養区分

12

なお

早稲田大学商学部

- > 学園祭運営サークル、お祭り支援ベンチャー、カフェ
- ♡ モビリティ、ベンチャー育成、地域経済産業政策
- 🏢 コンサル・シンクタンク、商社、不動産、広告



### 志望動機（Why METI?）

日本に生まれた人がこの国を誇りに思えるためには、「経済発展の実現」と「日々の暮らしへの充足感」の2つが必要だと思い、産業を支えることはその両方に貢献できると考えたからです！

民間にもこれができる環境は多くありますが、インターン先のような中小ベンチャーも支えられる点、目の前の利益だけでなく将来世代のことも考えられる点に魅力を感じました。

### 民間志望だったのに、どうして経済産業省に興味を持ったのか？

教養区分に運良く合格し、民間企業と比較的距離が近そうな場所として興味を持ちました。民間と経産省の両方の説明会に足を運ぶことで、片方を目指していたら得られなかった気づきも多く、就活全体を通して学びが多かったと思います。



大卒、教養区分

13

もり

東京大学法学部第三類

# 紆余曲折



> 劇団  
 > 全部  
 > 財務省、厚生労働省

### 志望動機①（Why public?）

政策・制度が個人の人生に及ぼす莫大な影響力を知っているから。個人として取れる社会改良のツールとして、政策・制度が最も現実的かつ魅力的だった。

### 志望動機②（Why METI?）

日本に存在する構造的な危機に適応できるよう、一刻も早く経済構造を変革しなければ、未来は悲惨なものになるという危機感。

### ギリギリまで悩んだ末に経産省を選んだが、後悔はないか？

経産省を選んでよかったと感じることが(現段階では)多いです。同期はみんな个性的かつ魅力的で、想像を超えた多様性を誇っていました。今までお会いした職員の方々も十人十色でしたし、自分の直感は間違えていなかったなと感じます。世界の広さを改めて教えてくれるのが経産省だと思います。

大卒、教養区分

14

はたいち

早稲田大学法学部



> 塾講師、NPO  
 > なんでも（特にエネルギー）  
 > 財務省、内閣府/  
 エネルギー開発、総合商社

### 志望動機①（Why public?）

好奇心が広く、特定の職種・業界に閉じてしまうのが嫌だったのと、真剣な人を応援したくなるたちだったので、国家公務員になろうと思いました。

### 志望動機②（Why METI?）

今、行政に求められているのは、技術や価値観が変わっていく中で社会に合わせて、種々の規制やその背景にある考え方を再定義することだと考えており、経産省は変化を恐れず先例を作っていける省庁だと考えたためです。

### 勉強に手がつかないときは、どうしたらいい？

僕も怠惰なので、面倒臭いと思ったことは数えきれないほどありますが、その度に本当に自分は国家公務員になりたいのか問いかけ、「やっぱ、なってみたいよな」と思い勉強・対策を進めていました。怠惰な自分とどう付き合うかは僕のような人にとっては公務員を目指すうえでとても大切なことなのだと思います。ちなみに、民間企業はその怠惰さ故対策を怠り、20数社全部落ちました。

大卒、教養区分

15

TN

東京大学法学部第一類



アメリカンフットボール部



エネルギー、中小企業



財務省

# 体育会



## 志望動機①（Why public?）

国の仕組みに興味があったから。

## 志望動機②（Why METI?）

職掌が広い。霞ヶ関以外とも関われる。

## 部活との両立は大変だったか？

大変だった。

大卒、教養区分

16

くに

東京大学法学部



テニスサークル

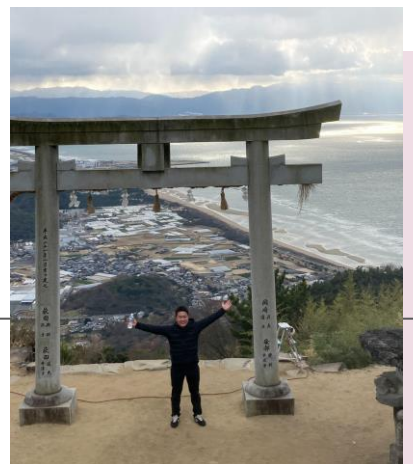


中小企業政策、スタートアップ支援



農林水産省

# 体育会



## 志望動機①（Why public?）

地方出身者として、地元で漠然と寂しさやネガティブな雰囲気を感じてきた中で東京や首都圏と地方の活気の差というものを埋めたい、地方の底上げに貢献したいと考えて、国家公務員を志望しました。

## 志望動機②（Why METI?）

地域経済の活性化こそが地方に活況を取り戻すための最善手だと考え、地方に根ざしている中小企業にスポットを当てて、その課題解決をサポートしたいと考え、経済産業省を志望しました。

## 学生時代に特別なことをしておいた方が有利か。

やっておくに越したことはないと思います。しかし重要なのはどれほど特別なことをやってきたかではなく、どれだけそのことに自分が力を入れて取り組み、何を学んだかということに尽きると思います。



大卒、教養区分

17

つつー

京都大学法学部



寮自治会、劇団愉快犯

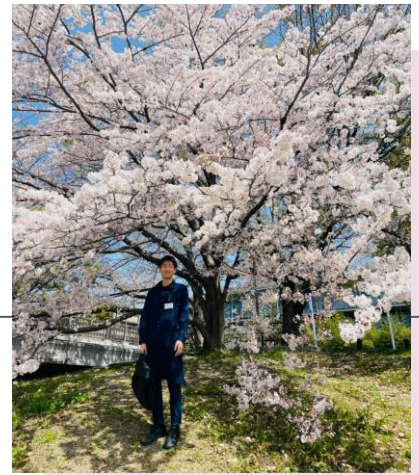


グリーン転換、人的投資、健康経営、産業構造改革、ビジネスと人権



環境省/

政府系機関



## 志望動機①（Why public?）

国家公務員を志望したのは、広く社会に貢献できる仕事がしたいという気持ちがあったからです。民間でも社会貢献事業はできますが、個社の利益追求に縛られずに、公の利益について正面から考える仕事の方が自分に合っていると感じました。

## 志望動機②（Why METI?）

その中でも経済産業省を志望したのは、経産省の仕事が社会的に大きなインパクトを持っていると感じたからです。自由闊達に議論できる雰囲気や職員の皆さんの熱意にも惹かれました。

## 民間就活はどれくらいしたか？

自分は民間に惹かれなかったので、インターンは数社のみ参加し、本選考はほとんど参加しませんでした。経産省は他省庁に比べて民間就活も経験している人が多い印象ですが、必ずしも必須ではないです！就活の負担が少なかった分、興味のある政策分野に関して勉強する時間を作ることができたため、原課訪問で職員の方とより深い議論をすることができました。

大卒、教養区分

18

paper

東京大学大学院公共政策学教育部

# 体育会



硬式野球部(学部時代)、ピアサポートルーム

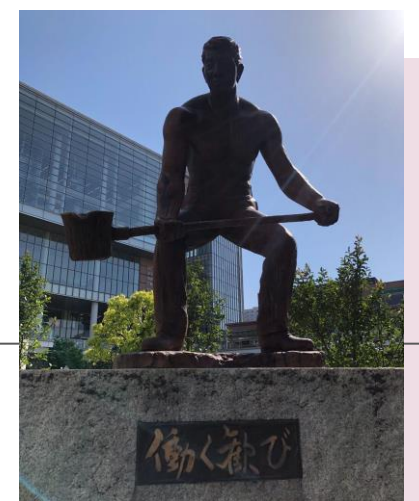


地域経済政策、中小企業政策、産業人材政策



総務省（自治）/

コンサル・シンクタンク



## 志望動機①（Why public?）

政策を仕事にするのが自分にとって一番やりがいのあることだと思ったから。中でも、政策の実行の所までやれるのは国家公務員だと思ったから。

## 志望動機②（Why METI?）

学部・院では自治体の方と一緒に何かやらせていただくことも多く、地方の産業という点に関心があったから。また、職員の挑戦も後押ししてくれるような雰囲気をもっと感じたから。

## やっておいて良かったことはなんですか？

自分は院に入る直前の4年の秋に教養区分で合格したのですが、これにより試験勉強のことを考えずに大学院の勉強・研究もしっかりできつつ、民間就活も割としっかりできたと思います。大学院進学してから、という感じなら早めに試験を受けるのも良いと思います。

大卒、法律区分

19

豆和歌

東京大学法学部第1類

> 東大ゆみの会、東大pomp  
 ♥ 通商、標準、イノベーション  
 🏢 外務省/  
 商社



### 志望動機①（Why public?）

ゼミで日本がルール形成分野において立ち遅れている場面があることを知り、漠然と危機感を抱きました。そして経産省の説明会を聞いていた際に、職員さんの「日本は一つのチームだ」という趣旨の発言から、自分もその一員なのだ、と当事者意識を感じ、国家公務員になることを明確に意識し始めました。

### 志望動機②（Why METI?）

私はもともと貿易に興味があったのですが、貿易周りのルール形成をしたとして、日本が海外に出せるものがなければ意味がありません。貿易に関わることができるだけでなく、そういった国内への目線も持っている点で経済産業省が魅力的に映りました。

### 職員の方と話す際に意識したことは？

「ナラティブに話す」ことが重要である、と官庁訪問中に学ぶこととなりました。文章に書く時と人に話す時はあるべき文の構成がまるで異なります。あまり構造化しないほうが、言いたいことをしっかり伝えられます。

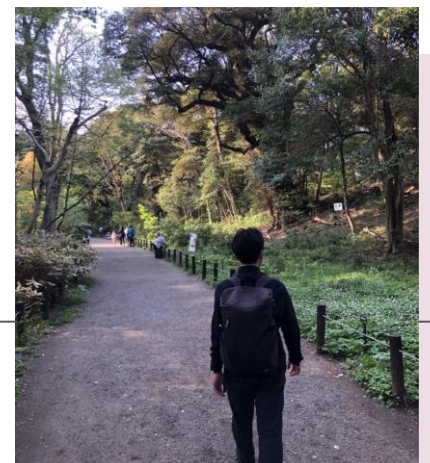
大卒、法律区分

20

T

東京大学法学部

> サークル  
 ♥ 中小企業、通商  
 🏢 財務省、総務省/  
 マスコミ



### 志望動機（Why METI?）

人々が希望を持って生きていける社会を実現したいと考え国家公務員を志望しました。多様なアプローチを通して、山積する社会課題に向き合える点と、官庁訪問中に感じた職員の方々の多様性に魅力を感じ、経産省を選びました。

### 民間就活はすべきなのか？

試験対策との両立は大変でしたが、民間就活は非常に貴重な経験でした。面接に慣れるだけでなく、社会人から話を聞ける良い機会だと思います。

僕は民間企業に就職してから公務員を目指しました。一度進路が決まったとしても、動き出すのに手遅れなんてないんだなと実感しました。皆さんもファーストキャリアに凝り固まらず、常に視野を広く持ってキャリアを進んでみてください！何事も楽しんで頑張ってください！



大卒、法律区分

21

サリオス

東京大学法学部第一類



行政機構研究会、デイトレ同好会



マクロ経済政策、中小企業政策、社会保障



財務省/

資産運用業界、政策金融

# 紆余曲折



## 志望動機① (Why public?)

日本は今後30年で少子高齢化、それに付随する経済収縮、社会不安の増大といった国難に直面することとなるが、これらの困難に際し一国民としてテレビの前で傍観するのではなく、政府の中で当事者として向き合いたいと思ったため。

## 志望動機② (Why METI?)

日本が現在抱える最大の政策課題は低成長・低賃金・低生産性という三低経済であると考えており、この三低経済を打破する政策立案能力を持つのは、マクロ的な成長戦略と、個別のミクロ的な産業政策の双方を立案できる経産省ではないかと考えたため。

## 多くの選択肢を前にして、就活中に自分を見失った時どうすれば良いか？

所詮人生一回しかないということを自覚した上で、自分の志の原点に立ち返り、後悔しない進路を選ぶ。

大卒、法律区分

22

元気くん

早稲田大学法学部



日本クルド学生連盟、塾講師



中小企業政策



農林水産省、内閣府/

地方公務員

# 紆余曲折



## 志望動機 (Why METI?)

自己実現のための選択を減らさず、挑戦できる社会を実現したいと考えたから。地方中小企業を経営する家に生まれたが、会社の将来性、地域経済の縮小という背景から家業を継ぐ選択をしなかった。後継者として会社の将来を担うには地方経済の再活性化なくして難しいと実感した。これは自身のみならず日本全国の問題であると考え、地方経済、中小企業の活性化に寄与したいと考えたから。

## 試験浪人は採用に影響が出るか？

マイナス要因としての影響は官庁訪問期間中一切感じなかった。

反対に、プラス要因として官僚として働きたいという強い意志を持っているとの評価につながった。なぜ、浪人してまでも官僚になりたいかを理論的に熱意をもって説明できれば、自己の強みになると思います。

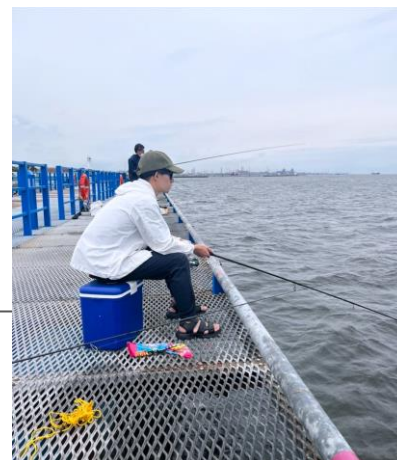
大卒、経済区分

23

のが

東京大学経済学部経済学科

# 海外経験



- > 人 フットサルサークル、コンサルバイト
- ♡ 人 人的資本経営、スタートアップ
- 🏢 人 コンサル

### 志望動機（Why METI?）

- ・市場の力を通じて、苦境にある人が前向きに暮らせる社会の実現に貢献したいから。社会課題の解決に資するような事業が伸びやすい環境づくりや、従業員への投資や労働環境改善に取り組む企業が増えるような仕組みづくりがしたい。
- ・職員の方々と会話する中で感じた、風通しの良い風土が自分に合っていると判断したから。

### なぜコンサルと迷い、なぜ経産省を選んだのか。

人々が働くことを楽しめる環境づくりがしたくて組織領域のコンサルに興味を持っていました。しかし、コンサルは基本的に個社ごと・プロジェクトごとの支援に終始するのに対して経産省ではより大局的な視点から社会の構造に起因する「働く」ことの課題解決に挑戦できることや、いまの興味領域以外の社会課題解決にも取り組めることが、自分に合っていると判断して経産省を選びました。

大卒、経済区分

24

オカさん

一橋大学経済学部経済学科



- > 人 塾、居酒屋、カラオケ
- ♡ 人 産業人材育成、教育政策
- 🏢 人 文部科学省/  
地方公務員

### 志望動機①（Why public?）

学生として21年間生きてきた中で、本当に多くの人に支えられてきたと感じましたし、これからもまだ会ったことない人に支えられていくと確信しました。ですので恩返しのために、特定の集団ではなく、社会全体を良くしていきたいと思いました。

### 志望動機②（Why METI?）

読書や対話を通じて私は常にやりたい事とその方法が変化してきました。だからこそ「将来の自分に選択肢を残すこと」が今の最善だと考え、最も様々な分野を経験しそれを活用した政策を打ち出せるといえる経済産業省を志望しました。

### 官庁訪問のリアルな対策を教えてください。

それは自分の関心分野を3つ上げ、それぞれに対して①現状②日本における良いところ③日本におけるダメなところ④なぜダメなのか⑤その省庁はどのように取り組んでいるのか⑥自分の意見をノートやワードに整理することです。





大卒、経済区分

25

A.K.

慶應義塾大学経済学部経済学科

- 母校部活のコーチ
- ♡ 通商政策（経済連携等）
- 🏢 財務省/  
コンサル



### 志望動機（Why METI?）

日本全体が大きな経済成長に対して諦めムードの中、我々の子ども・孫世代のために、誰かが現状を打開し日本経済を上向かせなければならない、そして自分がその担い手になりたいと強く思ったことが経産省を志望した理由です。その具体的政策として、通商から地域経済まで携われることも魅力でした。

### 他省庁との迷いをどう乗り越えたか。

私が大切にしていたのは「自分なりに考え直すこと」と「直感」です。前者に関しては、例えば多くの省庁が「所管が広い」と説明会で述べてましたが、重要なことは「何をもって広いとするか（分野、ツールなど）」であり、これをはっきりさせない限り曖昧なワードのままです。後者については、ワークショップなど自らが当事者になれるイベントに参加することで、組織や人の雰囲気に対する「直感」を積み重ね、判断材料にしました。迷うことは良いことだと思いますが、最後は自分の直感を信じてみてください！

大卒、経済区分

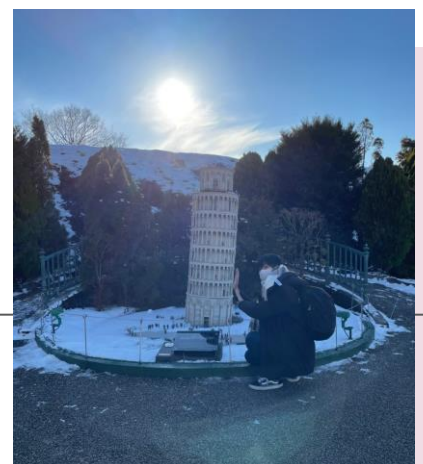
26

たけ

東京大学経済学部経営学科

- 山岳系、書評、伝統文化サークル、塾講師
- ♡ エネルギー、国内産業構造
- 🏢 厚生労働省/  
コンサル、金融、IT

# 紆余曲折



### 志望動機①（Why public?）

より多くの人のためになる仕事がしたいと思ったこと、民間就活を通じ公益性を追求できるという国という唯一無二の存在の魅力を改めて感じたことから国家公務員を志望しました。

### 志望動機②（Why METI?）

人びとの暮らしを豊かにしたいと考えたときに経済の持つインパクトが最も大きいと感じたこと、大学での学びの中で産業政策の必要性を実感したことから経済産業省を志望しました。

### 国家公務員への志望時期が周りより遅くても間に合うのか？

迷ったらとにかく動いてみましょう。自分も春試験の締切ギリギリで思い立ったクチですが、思いをぶつければしっかりと職員さんも向き合ってくださいました！とはいえ何事も先手先手の方が落ち着いて望めるのは間違いありません。少しでも興味があるなら今すぐイベントに申し込みを！

大卒、政治国際区分

27

ひな一しゅか

# 海外経験

東京大学法学部第三類（政治コース）

合気道サークル、雑誌制作サークル、塾講師  
 エネルギー、ルールメイキング、福島復興政策  
 環境省、国土交通省/  
 商社



## 志望動機①（Why public?）

社会に貢献したい、世の中に大きなインパクトを残したいという漠然とした気持ちがあった。国家公務員という選択肢と出会い、日本という国がどうあるべきかを真剣に考え、決断し、社会を動かしていくような働き方に心を揺さぶられた。

## 志望動機②（Why METI?）

日本の課題解決を考えたとき、あらゆる課題に切り込んでいくマインドと所管産業の広さを持っているのはやはり経済産業省だと感じた。また、職員の方のタイプこそさまざまだが、誰もがこの国を良くしたいという熱い心を持っている点に惹かれた。

## 官庁就活で「終わった...」と思った瞬間は？

秋の教養区分の二次試験の二日目、開始時間を勘違いしておりタッチの差で間に合わず受験できなかったことです。幸い官庁訪問直前の専門区分でリベンジして事なきを得たため、教養区分の失敗は今ではすっかり笑い話ですが、楽観的な私でもそのときばかりはさすがにショックでした。みなさんも受験票の時間はしっかり確認するようにしましょう。

大卒、政治国際区分

28

くま

# 体育会  
# 過年度

東京大学法学部第一類(法学総合コース)

運動会弓術部、テニスサークル、交渉ゼミ、家庭教師  
 産業構造改革、スタートアップ、人材、コンテンツ、  
 国際標準化  
 財務省



## 志望動機①（Why public?）

様々な関係者の話を徹底的に聞き目詰まりを解いていくことで、人々の想いを実現する後押しをするプロセスが面白いと思った。

## 志望動機②（Why METI?）

- ・職員の方々の考え方にシンパシーを感じた。
- ・職員の間でも考え方が多様で、自分の素直な気持ちを大事にできそうな環境だと思った。

## 官庁訪問にどのように臨む？

官庁訪問は試される場である一方、忙しい職員と1on1でじっくり話せる機会なので、自分は何を大事にして働きたいのか、職員が何を考えて働いてきたのかなど、自分が確かめたいことを予め持っておくと時間を有意義に使えるし、より楽しめると思う。



大卒、政治国際区分

29

おっち

慶應義塾大学法学部法律学科

# 体育会



- > 体育会端艇部
- ♡ エネルギー
- 🏢 外務省、文部科学省/  
金融、海運、商社

## 志望動機①（Why public?）

父の仕事を見て、今まで上手く行っていたルールが逆にイノベーションの妨げになってしまうことを知ったことで、ルールメイキングから社会を変えていきたいと思うようになりました。

## 志望動機②（Why METI?）

人々に身近である経済という手段であれば、様々な角度から社会課題に実行的な取り組みを考えていけると感じたため、志望しました。

## 部活動とどうやって両立したの？

「最低限ここまではやる」というラインを決めておくことが重要かなと思います。自分の場合は、06:00朝練と16:00午後練は決まっていたので、その間で3時間と日を越すまでに3時間勉強しようと決めていました。民間就活は気合で頑張っていました。

大卒、政治国際区分

30

次郎

慶應義塾大学法学部政治学科

# 体育会  
# 海外経験  
# 紆余曲折



- > サッカーサークル、学生ベンチャー
- ♡ スタートアップ政策、通商政策
- 🏢 財務省、防衛省/  
金融、コンサル

## 志望動機①（Why public?）

日本を代表して全力で戦うことに憧れと誇りを感じたから。アメリカの田舎でアメリカ人たちと相撲、サッカー、アメフト、卓球などした時に常に日本代表としてみられ、負けたら心底悔しいし勝てば誇りに感じる経験をしたのがきっかけ。サッカー日本代表がワールドカップで戦う姿を見てると胸が熱くなるタイプ。

## 志望動機②（Why METI?）

国を前進させようとするメンタリティーに惹かれました。また、自国の産業を背負って海外と関わること、海外の良い点や情報を自国の経済・産業に取り入れることが両立できる点でも惹かれました。

## 周りの友達がしっかり民間就活をしている中で自分だけが国家公務員就活をしていて不安や迷いが生じた？流されそうになる？

時折不安や迷いも生じるし民間の方に流されることもあるかもしれませんが。けれど、そうして民間の実態も知ることで結局自分の官僚への思いも再認識することができますし、物事を広く知ることはプラスに働くと思います。流されるだけ流されましょう。最後はここに帰ってくればいいと思っています。

肩の力を抜いて、笑顔を忘れずに、相手の目を見て話すことが大事なのではないのかなと思います。お互い頑張りましょう！

大卒、政治国際区分

31

じろ

上智大学法学部国際関係法学科

# 体育会



- > バスケットボール
- ♥ エネルギーの安定供給、ヘルスケア産業、核融合発電
- 🏢 厚生労働省

### 志望動機①（Why public?）

日本全体の公益を考えられるお仕事の方が自分の労働の価値観に合っていたからです。なぜ働くのかを考えた時に、お金を得るためというよりは自身のアイデンティティを確立したいから働くという気持ちが強かったため、人々の当たり前の日常を支える公益性の強いお仕事に就きたいと考えたからです。

### 志望動機②（Why METI?）

幼少期の体験と大学生の時の体験がきっかけです。計画停電のあるエリアで育ち、電気が一時的に使えないことの不便さを知りながら生活していました。大学2年生の時に復興庁のインターンシップの活動の一環で、石巻市に訪問し、被災者の方々に話を聞いた時に電気が好きな時に使えないことがほんとに大変だったと聞いて、エネルギーの安定供給に携わる仕事をしたいと考えるようになりました。

### 第一志望の官庁がダメだった時にどうやって踏ん切りをつけて官庁訪問を続けたか

厚労省の官庁訪問がダメだった時に、ヘルスケア課の職員の方の話を聞いたことが経済産業省に入ろうという気持ちを強固にしてくれました。ヘルスケア産業は法規制のない領域ですが、産業として未熟な段階で法規制をかけると成長を阻害する可能性があるため、事業者間でルールを決めさせ、産業として醸成させることで法規制のない領域でのモラルハザードを防ぐという話を聞きました。この話で弱者救済は厚生労働省の特権ではないと知り、経済産業省に入りたいと強く考えるようになりました。

大卒、政治国際区分

32

ロング

慶應義塾大学文学部人文社会学科卒業、  
現在無職# 体育会  
# 紆余曲折

- > 競技ダンス部
- ♥ ヘルスケア、物流政策、産業構造改革、人材政策
- 🏢 農林水産省、国土交通省

### 志望動機①（Why public?）

まず前職の民間企業で感じた社会課題を政策によって解決できるのは国家公務員だと考えた。また歴史上の偉人のように国がどうあるべきかを考えてその実現に向けて行動したいと思った。以上。

### 志望動機②（Why METI?）

自由だと感じたから。他の省庁と異なり所掌業務が圧倒的に広いし、職員一人一人が仕事を自発的にしていると説明会通して感じた。

### 社会人や既卒でも内定できる？

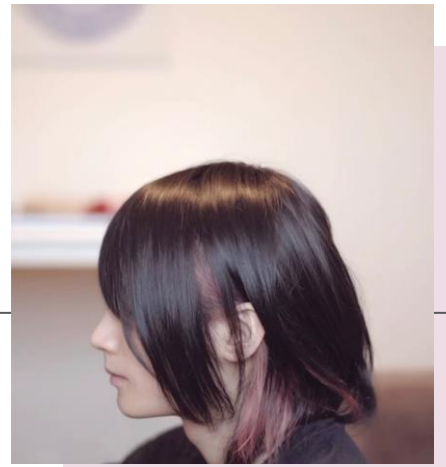
内定できます。自分がその実例です。既卒や社会人経験者が内定に必要なのは自身の経験をしっかりと語り、内定後何をしたいのかを説明できるようにすることだと思います。



大卒、政治国際区分

33

つだ

Tallinn University of Technology,  
School of Business and Governance、  
大阪大学外国語学部外国語学科# 地方大学  
# 海外経験  
# 紆余曲折

- ゼミ指導、エストニア政府インターン、起業、OneYoungWorld2022  
スタートアップ、DX、イノベーション
- デジタル庁/  
外資戦略コンサル、外銀、商社

## 志望動機①（Why public?）

日本経済の発展とグローバルイシューの解決に寄与できるためです。日本政府の意思決定プロセスを担い、多元的なステークホルダーを巻き込むルールメイキングに携わることで、社会全体にインパクトを与えられる霞ヶ関の魅力に惹かれました。

## 志望動機②（Why METI?）

自身のバックグラウンドやスキルセットと照合し、行政官として最も付加価値が出せる場所だと考えたためです。

## 「中央官庁」 vs 「外資コンサル、総合商社」で迷った時の判断軸は？

「ルールメイカーとしての全体最適追求」か「ルールテイカーとしての業界最適追求」の二項対立に尽きます。もちろん給与（フィー）の水準やカルチャーフィットなど、加味すべき点は様々あると思いますが、国民・事業者全体を包摂する形で国家戦略を策定・実施できる主体は政府のみであり、行政官はそのダイナミズムの中心的な行為者です。インパクトのある仕事をしたい人には、霞ヶ関がベストオプションだと思います。

大卒、工学区分

34

ペンギン

東京工業大学環境・社会理工学院融合理工学系

# 海外経験  
# 紆余曲折

- TEDx、日米学生会議
- インフラ海外展開、通商政策、自動車政策
- 国土交通省/  
政府系機関

## 志望動機①（Why public?）

新興国や北米、過疎地を含む日本各地を訪れた経験から地域による成長のコントラストや、留学生との交流などからも日本のプレゼンスの低下に危機感を持ち、日本を元気にしたいと考えたから。

## 志望動機②（Why METI?）

日本の誇る技術力によって日本経済を元気にするには、技術力そのもののみならず、資金やルール、国際関係など、技術を取り巻く領域の障壁も解消し、企業の国際競争を後押ししたいと考えたから。

## 周りに国家公務員志望者が少ない中でどのように経産省について理解を深めたか？

とにかく説明会やイベントに参加することだと思います。経産省では様々なタイプの就活イベントを開催していますし、それらを通して同じような志をもった方々に会うこともできます。また、様々な情報が飛び交う就活や官庁訪問だと思いますが、経産省の方はとてもフランクに本音ベースで話してくださっていると感じたので、結局一番早く正確な情報を手に入れるにはイベントに行って、生の情報を自分で集めに行くことだと思います。

大卒、工学区分

35

K.T.G.

東京工業大学大学院環境・社会理工学院  
技術経営専門職学位課程

# 体育会



- > 競技スキー部
- ♡ 産学連携、研究開発型スタートアップ支援、グリーンイノベーション
- 🏢 総合商社、外資コンサル、シンクタンク、日系メーカー企画職(自動車)

### 志望動機（Why METI?）

もともと中長期的な視点にたってイノベーションを創出・促進していくことに興味があり、METIがその分野で重要なポジションを担っていると感じたから。特に今後は国自身も起業家的精神をもって、産業振興に力をいれていくことが必要になると感じており、METIでの仕事のやりがいが高まると感じたから。

### 民間就活にはどれだけ注力すべき？

個々の制約の中で、「楽しむ気持ちで積極的に」するのがおすすめです。入省後、多様な業界とのかかわりがあるなかで、相手側の視点にたったときにMETIがどう見えるのか、もっと言えばどんなところに課題があるのかを整理しておくことが重要だと思うからです。おまけに良いコネクションにもなります。

大卒、工学区分

36

たっしー

北海道大学大学院工学院共同資源工学専攻

# 地方大学  
# 海外経験

- > 夜職、北大ワイン会
- ♡ 通商政策、資源外交
- 🏢 総合商社

### 志望動機（Why METI?）

「外交をやってみたかった」の一言に尽きます。外交といっても分野は幅広いですが、その中でも「資源エネルギー外交」と「経済外交」はミッションが明確であり、これらの分野について特化したい、スペシャリストになりたいと思ったので経済産業省に来ました。また、外交政策の中身（霞が関では「サブ」とか「サブスタンス」と呼ばれるそうですが）について、若い年次から関わることのできる組織であることも決め手でした。

### 官庁訪問の心構えを教えてください！

政策の詳しさを勝負しないことです。勘違いされがちですが、目の前の面接官より優れた政策を提案できれば、官庁訪問成功とかないです。そうではなくて、面接官にはあなた自身の思考のフレームワークを見られている気がしますし、それが官庁訪問成功の鍵だと思いました。つまり、与えられた課題や現状に対して、あなたはどのような情報処理をした結果、アウトプットをするのかを見られてるってことです。意識して臨んでみてください。



大卒、工学区分

37

グーナー

北海道大学大学院工学院環境創生工学専攻

# 地方大学

# 体育会



体育会サッカー部



エネルギー政策、脱炭素政策



商社、政府系金融機関、エネルギー会社

## 志望動機（Why METI?）

二つあります。

①私が取り組みたいと考えている、地球温暖化の抑止という目標に対して、最も実効性を持つツールを有している組織が経済産業省であると思ったから。

②官庁訪問や、その他の経済産業省のイベントを通じて、所掌する幅広い政策課題に対する深い見識、論理的な思考力、そして何よりも人を惹きつける人間的な魅力を持った職員の方たちに出会い、「自分もこうなりたい」と感じたから。

## 採用年度より前に国家公務員試験を受けておくメリットは？

三つあると思います。

①修士一年で受験する場合、大学院入試の勉強の記憶がまだフレッシュなので、勉強時間が少なくて済む可能性がある。

②もし合格すれば、翌年度は民間就活にも時間と労力を割くことが出来る。

③もし合格すれば、6月官庁訪問にも行くことが出来るため、採用のチャンスが増えるだけでなく、早期に就活を切り上げることが可能。

大卒、化学・生物・薬学区分

38

お湯

東京工業大学環境・社会理工学院  
技術経営専門職学位課程

# 海外経験



ボランティア、社会人向け講座のTA



知的財産、産業技術、研究開発

特許庁/  
シンクタンク

## 志望動機（Why METI?）

私は知的財産政策に興味があり、初めは特許庁を志願していました。しかし、経済産業省で取り扱う政策分野のほとんどに知的財産が関わりうることを知り、経産省の持つ多様なツールと併せて知財を活用することで、日本の産業全体に影響が及ぶ政策を生み出せるのではないかと考えて、経産省を志願しました。

## 複数省庁間で悩んだら、どうすべきなのか？

まずは各省庁にて、興味のある政策分野に携わる職員さんに直接お話を聞き、自分の考えをぶつけてみるのが効果的だと思います。加えて、その分野に関係している社会人の先輩方にもアドバイスをもらえたら、なお良いと思います。とはいえ、私は官庁訪問3クール目までどちらの省庁に行くか悩み続け、最後は直感で決めました！

大卒、数理科学・物理・地球科学区分

39

しの

早稲田大学先進理工学研究科物理学専攻

- 地方の高校生向けの講習会の企画立案をするバイト
- 研究室発ベンチャーの支援政策、宇宙政策
- 商社、総合コンサル(IT系)、政府系銀行



### 志望動機（Why METI?）

自分の知りたい領域(人間の行動原理の分析)と、世の中の大きなトレンドメイキングの両方に関わることができると思ったからです。インターンに参加していた縁で、官庁訪問前に職場訪問を10回程度させてもらったため、働くイメージがしやすかったのも最終的な決め手になりました。

### 就活中にやっておいてよかったことは？

- 1.日経新聞を読むこと：私のように普段ニュースを見ない方は、世の中の動向を比較的公正な目で知るためのツールを確保しておくと思います
- 2.さまざまな業界を受けてみることで：採用活動での面接では、普段なかなか会えない役職の方が担当してくれるので勉強になります
- 3.経産省の職場訪問：官庁訪問で話す話の種にもなりますし、ビジネス全体を俯瞰的に知ることができるので、自分の興味のある業界の見つめ直しにも役立ちました

大卒、数理科学・物理・地球科学区分

40

S.I.

名古屋大学理学研究科素粒子宇宙物理学専攻

# 地方大学  
# 紆余曲折

- 塾講師(集団・個別)、素粒子宇宙起源研究所(RA)
- 産学官連携、宇宙産業、新エネルギー
- アカデミア(博士課程進学)



### 志望動機①（Why public?）

もともと宇宙物理学者を目指していたが、宇宙望遠鏡の建設のようなお金のかかるサイエンスが実現するためには、何よりも社会の豊かさが必要不可欠だと感じ、科学技術を支えることのできる、余裕ある日本をつくるため公務員を志望した。

### 志望動機②（Why METI?）

インターンシップや説明会で出会った職員の方々が日本の未来のビジョンを鮮明に持っていて、その人格に惹かれたのが一番の理由。また、国富の拡大というミッションが自分の興味を持っている科学技術振興や地方創生といったテーマに最も貢献できると感じたということもある。

### 大学院生の官庁訪問での強みは？

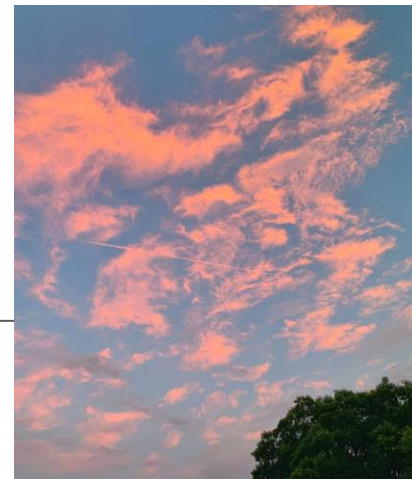
研究を通して身に付いたプレゼン力や思考の瞬発・継続力が官庁訪問で非常に役立ったと感じています。また、他の人の経歴を見てもわかるように経産省は様々なバックグラウンドを持つ人を求めているようですから、研究を通して自分の色をどんどん濃くしていくと、喜ばれるかもしれません。また、院生なら当たり前だと思っているその経験やスキルは意外と貴重だったりします、アピールしてもいいかも。



大卒、数理科学・物理・地球科学区分

41

Y.I

慶應義塾大学大学院理工学研究科  
開放環境科学専攻# 体育会  
# 紆余曲折

> 元サッカー部  
 > エネルギー政策全般  
 > 環境省/  
 インフラ、ソフトウェア

### 志望動機①（Why public?）

日本をより良くしたい、日本で過ごす人たちがより快適な生活を送れるよう基盤を作りたいと思い国家公務員を志望しました。...いやクサすぎ。。些細なきっかけは研究室の先輩が気象庁に入庁され、仕事内容や働いている姿がきっかけで思ったからです。

### 志望動機②（Why METI?）

インターンや職場訪問でお世話になったご職員さんが全員魅力的（本当です！）でこの人たちと働きたいという思いがあったことと、仕事内容が多岐に渡りどれも自分の中で興味深いなあって思ったからです。そして同期もいい奴多いです。

### 結局就活でどのツールが役に立ったの？

就活に限らず大切な価値観を確認してみると自分の視点がクリアになると思います。その点「insight (ターシャ・ユーリック)」って本は面白かったです（回し者ではないです^\_^;）。自分の価値観に基づいたら国家公務員いいな～って興味持てました。専門的な勉強はその後からでも遅くない。

大卒、数理科学・物理・地球科学区分

42

こっぺぱん

早稲田大学大学院先進理工学研究科  
物理学及应用物理学専攻

> 学園祭運営  
 > 製造業振興、イノベーション政策、エネルギーなど  
 なんでも  
 > 報道機関、シンクタンクなど



### 志望動機（Why METI?）

資源のない日本で現在の豊かさを維持するためには、民間企業の高い技術力によって高付加価値製品が生まれる「ものづくり」が重要だと考えています。そのためにも博士人材等、優秀な技術系人材が産学の枠に囚われず活躍する研究開発環境が不可欠です。しかし大学院で物理学を専攻している私の周囲には、メーカーでの研究開発に将来性を感じず、他の業種を選択する学生が多くいます。私は経済産業省で、メーカー各社で研究開発が盛んに行われるよう税・制度・通商などの各施策に取り組みたいと考えています。

### 周囲に公務員志望がいない理系院生はどのように試験対策・官庁訪問対策を行ったか？

試験対策では、学部時代の授業を思い出しながらひたすら過去問を演習しました。官庁訪問では、政策等に対する知識の量のみでなく、どのように物事を捉え他者に伝えるかも重要だと思います。民間志望の友人とも社会問題について雑談するなど、自分の考えを整理して伝える機会を増やしました。

院卒、行政区分

43

KO

京都大学大学院公共政策教育部

# 地方大学  
# 紆余曲折

> 国際法模擬裁判、大学院自主勉強会  
 ♥ 経済安全保障、通商政策、イノベーション政策  
 🏢 外務省/  
 政府系機関

## 志望動機①（Why public?）

原爆被爆地の出身であることから、元々平和に興味があり、国際性・公共性の高い仕事をしたいと思ったのがきっかけです。他にも、模擬裁判サークルの先輩に公務員になる人が多かったのもきっかけかもしれません。

## 志望動機②（Why METI?）

元々平和に興味があり、学部で国際法をやっていたこともあり外務省なども考えていたのですが、大学院に入り経済や国際関係を学ぶ中で今の日本にとって最も重要な課題は経済力であると感じるようになり、経済産業省を志望しました。

## 官庁訪問対策で意識したことは？

初めは国際系への興味から経済産業省を志望したのですが、経済産業省の組織としての最大の目標は国富の拡大なので、そうした目標に向けて国内の経済や産業の課題との関連の中で対外経済政策について考える視点を意識しました。

院卒、行政区分

44

T.Y.

京都大学大学院公共政策教育部

# 地方大学



> サッカー、論文コンテスト、飲食店  
 ♥ 資源循環、経済安全保障  
 🏢 環境省/  
 商社、産廃処理会社

## 志望動機①（Why public?）

就活の際、ある企業の方が「これから日本は沈没する」と言っていたのを聞いて、悲しさと憤りを感じた。そしてそれを良しとして生きていくのではなく、自分が沈まない国にしたいと思い、公務員を目指した。

## 志望動機②（Why METI?）

日本を沈まない国にするために、資源がないという弱みを、技術力をもって強みに変えていく必要がある。所轄範囲の広い経産省であれば、国として仕組みづくりをしたり、分野横断的な掛け算をしたりできると考えた。

## 民間就活をしてよかったことは？

政策分野に関することについて、経産省の協力相手となる民間企業の立場からのお話を聞くことができ、非常に勉強になった。官庁訪問ではそのことを職員の方にシェアすることで、新たな発見につながった。

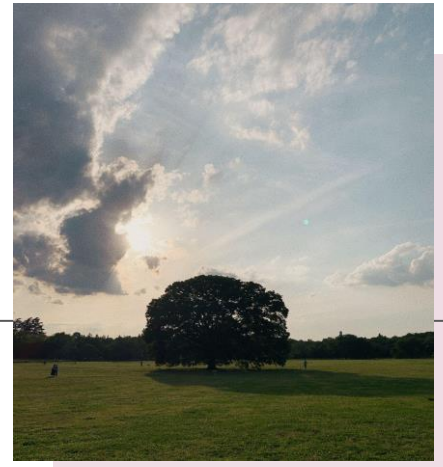


院卒、行政区分

45

K.M

一橋大学法科大学院

# 過年度  
# 紆余曲折

- > ボランティアサークル、議員事務所アルバイト
- ♡ コーポレートガバナンス改革、ESG投資の呼び込み、経済安全保障
- 🏢 総務省、公正取引委員会/法律事務所

### 志望動機①（Why public?）

コーポレートガバナンスやESG投資の呼び込み、経済安全保障といった諸課題について、特定の企業の中でというより企業全体に行動変容を促すことで、役割を果たしたかったから。

### 志望動機②（Why METI?）

経産省はコーポレートガバナンスやM&Aについてソフトローや各種規制を通して大きな影響力を与えており、Why publicを達成することは経産省でしかできないと考えたから。

### どのように志望動機を考えていけばよいのか？

官庁訪問中には、自分が提示した志望動機が①本当に国家公務員でしかできないことなのか(民間、地方公務員でできることではないのか)、②本当に経産省でしかできないことなのか(他省庁ではなぜ実現できないのか)を深く問われると思います。採用担当を始めとした職員との会話の機会を有効活用して志望動機をブラッシュアップしていくことが重要であると感じました。

院卒、行政区分

46

こうぴー

早稲田大学大学院文学研究科  
中東イスラーム研究コース# 体育会  
# 海外経験  
# 紆余曲折

- > 射撃部、難民支援インターン
- ♡ 貿易政策、中小企業政策、スタートアップ支援
- 🏢 国土交通省、農林水産省/資源開発

### 志望動機①（Why public?）

イラク・クルド自治区において国なき民の悲劇を多々目の当たりにして自分が所属する国家日本はなんとか存続させたいと思ったから

### 志望動機②（Why METI?）

イラクにおいて日本の中小企業の獅子奮迅と資源国に対する中国などの大国の開発競争を見てきたことから大国に競り勝つ日本の産業と貿易を構築することを職業にしたいと思ったから

### 年齢は選考に影響しますか？

25歳の私がお答えします笑

年齢がいくつかということよりもどう生きてどんな問題意識を形成したのかという点を見られていたなと官庁訪問全体を通して思いました！可能性が1%でもあるなら自分を信じて頑張ってください！

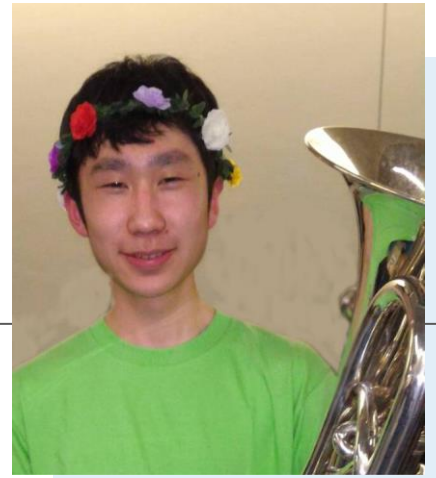
院卒、工学区分

47

S.T.

北海道大学大学院工学院  
エネルギー環境システム専攻

# 地方大学



- > 👤 プログラミング教育活動コミュニティ、塾講師
- ♡ ベンチャー・スタートアップ、イノベーション、電力・エネルギー、DX、GX、通商・貿易、自動車
- 🏢 文部科学省、内閣府/ソフトウェア・情報処理サービス、メーカー、電力・ガス・エネルギー

### 志望動機①（Why public?）

課題「解決」先進国の形として、社会課題の解決を積極的にビジネスに取り込んでいく枠組みによって、最終的には民間の力で課題が解決されていく社会が一つの理想的な姿ではないかと考えています。

そうした社会の実現のために大きな障壁となる、社会や産業における経路依存・構造的な課題に取り組むには、一民間企業では困難だと感じ、国の仕事を志しました。

### 志望動機②（Why METI?）

未来志向で世界規模の視野と地域視点での行動の双方を高いレベルで実践していくことができる組織はここしかない、経済産業省を目指しました。

### 就職活動で大切にしたこと

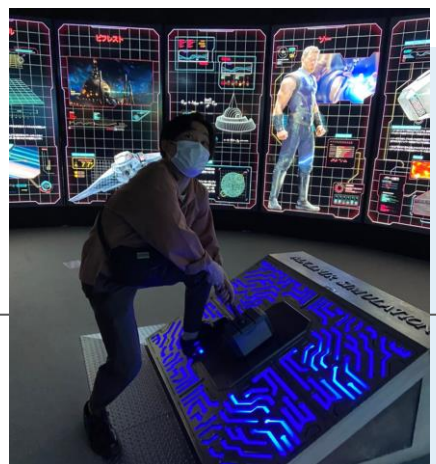
業種・職種・年代を問わず、時間の許す限りとにかくたくさんの方からお話を伺うことを大切にしました。

官庁訪問を含めて就職活動は、様々な方からお話を伺うことができるまたとない貴重な機会だと思います。就職活動には様々な不安や葛藤があるかと思いますが、真剣に取り組んだ経験が皆さんの最終的な決断に必ず大きな自信と勇気をもたらしてくれると思います。

院卒、工学区分

48

スシ

東京工業大学工学院  
機械系ライフエンジニアリングコース# 過年度  
# 紆余曲折

- > 👤 生協団体、民間IT企業
- ♡ 人材政策、教育政策、イノベーション政策
- 🏢 文部科学省/  
IT系、家電メーカー、自動車メーカー

### 志望動機①（Why public?）

目先の利益優先ではなく、自分達の次の世代やさらにその先の世代に残せることを優先して取り組める職業に憧れたので。またより多くの人に対して貢献できる仕事をしたいと考えたので。

### 志望動機②（Why METI?）

社会課題を解決するには一つの省庁では不可能だと考えており、他省庁に対して攻めた意見を言える環境である経産省には強く惹かれたので。他省庁の分野を経産省の職員の方に話しても否定されることはなく、むしろ経産省だからこそできるアプローチを話していただけたので、経産省なら縛りが少なく理想の実現に動けると感じたので。

### 省庁選びはどのように行ったか？

各省庁の業務内容はどこも幅広く複数の業務があり、正直資料やホームページ、説明会だけでは省庁を選ぶことができませんでした。おすすめなのは、複数の省庁の職員訪問に行き、ジャンルの違う具体的な実業務内容を幅広く聞くことです。当初は想像もしてなかった分野こそ、自分の理想に最も近いということに気づくことができましたし、職員の雰囲気を知ることは省庁選びにおいて最も重要だったと思います。また他省庁と比較することで、その省庁の良さや悪いところが見えて来るので、複数省庁を並行することが良い経験になりました。



院卒、工学区分

49

A.Y

# 海外経験



なし  
エネルギー、デジタル  
警察庁/  
コンサル

### 志望動機①（Why public?）

中国への留学を通して、日本の10年後20年後はどのようなになっているのだろうと不安に感じた。特にデジタルやエネルギー分野をサポートしたいと思い、国家公務員であれば技術・知識を吸収しつつ社会に広くアプローチできると期待している。

### 志望動機②（Why METI?）

国家公務員の中でも、経済やエネルギーといった広く社会の基盤となっている領域に携われるため、「社会に広く貢献したい」という自身の就活の軸によく合致していた。また、説明会を通して職員はもちろん参加学生も多種多様で働く際に良い刺激を受けられるのではないかと感じたため。

### 民間就活を行うべきか？

私は官庁訪問の前年秋頃までは公務員だけを見ていましたが、やはり落ちたら不安だ感じてコンサル会社を数社受けました。コンサルの選考を受ける中で、就活の軸や志望動機を固めることができ、官庁訪問も楽しんで乗り越えることができました。最終的にはコンサルと経産省を比較した上で、より自分にあった方を選ぶことができたので多少無理してでも民間を受けることをお勧めします！

院卒、工学区分

50

抹茶

# 地方大学  
# 紆余曲折

人力飛行機製作、スキーインストラクター、塾講師  
成長戦略、産業構造改革、イノベーション政策、製造産業政策  
国土交通省/  
メーカー

### 志望動機①（Why public?）

自分がこれまで培った技術を活用して人々のために仕事をしたいと考えたとき、民間で技術開発に注力するよりも、国家公務員として技術の育成から普及、それによる社会の変化までを見据えた長期的な政策立案という仕事に技官として関わりたい、また自分はそのほうが向いていると感じた。

### 志望動機②（Why METI?）

経済産業省は産業全般という広大な領域の、研究開発の支援から制度の改善、市場の育成といった幅広い場面で貢献できる様々なツールを持つ省庁である点が魅力。またどの省庁よりも早く動き出すことができる風土があると感じた。

### 民間と国家公務員、いつごろまで迷っていた？

1月の冬季インターンの時期までは相当に迷っていたが、インターン先の企業の課題に取り組み、また民間就活の志望動機などを考えるうちに、国家公務員だからこそできること、やりたいこと等が明確になってきたため、本格的に公務員を志望するようになった。

院卒、工学区分

51

C.K.

# 海外経験

東京大学大学院新領域創成科学研究科  
海洋技術環境学専攻



> 研究（院生時代）、映画制作団体、テニス、バスケット（学部時代）  
 > 資源、エネルギー、自動車、イノベーション  
 > 商社

### 志望動機（Why METI?）

安定して競争力があり、将来世代が安心して生活できる日本を実現したいと思い経産省を志望した。留学や研究活動、大学・大学院を経て技術・産業における日本の立ち位置を認識し、存在感の低下と資源小国であることに危機感を覚えた。職場訪問を通して、経産省は様々な手段で産業界にアプローチし牽引していくことができると実感した。

### 経産省の就活はどうしたか？

学部時から、大学院卒→経産省という道を考えていたため、学部4年の春に院試と国家公務員試験の勉強を同時に行った。既合格者技術系向けに6月にも官庁訪問が用意されているため早く就活を終えることができた。（余力があれば院卒区分も合格しておくで給与がアップする。）官庁訪問対策では、インターンや職場訪問に多く参加し、職員の方から様々なお話を伺った。面接の練習は大学の先輩等をお願いした。

院卒、工学区分

52

K.M.

# 海外経験

東京工業大学工学院機械系



> 塾講師、大学発ベンチャー企業でインターン、ロボット製作  
 > イノベーション政策、産業政策  
 > メーカー

### 志望動機（Why METI?）

私は、最初、民間企業の研究開発職しか見ていませんでした。一方、大学での研究、インターン等の経験から、技術が社会実装されて人々に届くまでに、高いハードルがあることに課題意識を持っていました。そこで自分自身は何に挑戦していきたいか考えた結果、経産省の立場から、技術開発環境を整備し、日本の産業の発展に貢献したいと思い、志望しました。

### 研究との両立はどうしていたか

私の研究は実験系で学校に行かないと研究できなかったもので、研究室にいるときは研究のことを、それ以外のところで就活のことを、というように切り替えるようにしていました。また、一緒に公務員試験を受けている人が周りにいなくて不安なときは、経産省の職員の人との個別面談でたくさん相談していました。



院卒、工学区分

53

T.W.

東京大学大学院工学系研究科  
航空宇宙工学専攻

# 体育会



- > 運動会軟式庭球部
- ♡ 製造業の競争力強化、宇宙産業政策
- 🏢 国土交通省/  
メーカー

### 志望動機①（Why public?）

就職活動の中で自分がやりたいことを考えたときに、何度考えても「日本を守っていきたい」という結論に至りました。「日本」という大きな対象に対して、国家公務員としてならアプローチしていけると思ったため国家公務員を志望しました。

### 志望動機②（Why METI?）

私は内燃機関（エンジン）の研究室に所属しているのですが、EVシフトによりエンジンをはじめとするサプライチェーンが崩壊することに強い危機感をもちました。エンジンに限らず日本の製造業全体が厳しい状況にある中で、製造業の国際競争力を保っていききたいとの思いから経産省を志望しました。

### なぜ技術者としてではなく、官僚になろうと思ったか？

当初は技術者としてメーカーに就職するつもりでした。しかし技術者として働くよりも、官僚としてマクロな視点で日本産業に貢献することの方が自分がやりたいことにマッチしていたため官僚の道に進もうと決めました。また、経産省の活気ある風土も決め手の一つでした。

院卒、工学区分

54

たなか

東京工業大学大学院物質理工学院  
材料系材料コース

# 紆余曲折



- > 合唱サークル、バンドサークル、塾講師、長期インターン
- ♡ 産業構造政策、人材政策
- 🏢 金融、メーカー

### 志望動機（Why METI?）

産業と密接に関わる分野の研究をする中で将来に対する漠然とした不安を覚えしました。他企業が投資回収の旨味を感じにくく、市場規模が小さい分野の研究開発に注力し独占することで利益を得る産業形態では、大きな成長が見込めず、相対的に衰退の一途を辿るのではないかと思いました。この思いを払拭するためには、「経済」という非常に大きいスケールで様々な業務に携われ、日本の産業発展を支える役割を持つ経済産業省で働くことが最適であると思ったからです。

### なぜ理系の研究職は技術職と悩まなかったのか。

単に「実験結果の考察→打ち手の再考」を繰り返す私にとって、自ら手を動かす実験や起きている現象にワクワクしながら研究に取り組む他学生が眩しく映りました。新しい知識を身に付けることは楽しかったのですが、どれだけやっても他学生のように研究で心揺さぶられることがなかったため、理系職への悩みはありませんでした。



院卒、数理科学・物理・地球科学区分

55

みにぐち

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻

# 海外経験  
# 過年度  
# 紆余曲折

> なし  
 < イノベーション政策、産学連携  
 < 特許庁

## 志望動機①（Why public?）

安定と成長を見込むことができる環境で、自分の人生の土台を形成し、また自分がこれまで培ってきたスキルを以て最大限に社会に貢献したいと考えたから。

## 志望動機②（Why METI?）

技術シードを発掘し産業へと繋げる産学連携のあり方に私は興味を持っていた。経産省ではこのような課題について、自分の問題意識から政策立案、法や制度の策定・運用に至るまで一気通貫して取り組めるから。

## 官庁訪問はどうでしたか？

イベント・説明会に参加したことがなく、官庁訪問で初めて経産省に来ました。それでも、メンターの方が丁寧に対応して下さり、さらに職場訪問等を通じて経産省に魅了されていきました。内々定を得るために大切なのは、準備はもちろんですが、何より官庁訪問中の成長だと私は考えています。

院卒、化学・生物・薬学区分

56

やなぎ

東京大学大学院新領域創成科学研究科  
メディカル情報生命専攻

# 体育会



> 体育会ボート部(大学時代)  
 < イノベーション政策  
 < 厚生労働省、文部科学省/  
 総合商社

## 志望動機①（Why public?）

民間企業は市場における1プレイヤーとして利益を上げることが目的としていますが、官庁は利益を追求せずルール作りを通じて国全体を良くしています。どちらかというと後者に携わりたいと思いました。

## 志望動機②（Why METI?）

1つは、所掌範囲が広く多様な政策分野に携われると感じたため。そしてもう1つは、保守的な組織が多い霞が関において革新主義な側面が強いと感じたためです。

## 6月と7月で2回官庁訪問を受けましたが、その際どのような点を改善しましたか？

志望動機を一から見直し、論理の飛躍をチェックし修正しました。その後、自分が関心のあったイノベーション関連の書籍を何冊か読み、課題を多角的にみられるよう様々な視点を養いました。



院卒、化学・生物・薬学区分

57

おしむー

# 地方大学

京都大学大学院農学研究科応用生命科学専攻  
生体高分子化学研究室

> カフェ店員  
 ♥ バイオ、イノベーション、エネルギー  
 🏢 文部科学省、農林水産省

## 志望動機①（Why public?）

大学でバイオの研究をしており、バイオの研究や産業をもっと活発にできる環境を整えたいと思ったから。研究をするのであればアカデミアに残る、企業の研究職に就く等の選択肢があり、実際当初は製薬企業を検討していた。しかし日本においてバイオの研究環境が整っているとはいえず、資金・人材不足、市場の弱さ、大学組織構造など様々な問題を抱えており、それらすべてにアプローチするためにはプレイヤーではなく「場を作る立場」の人間になった方がいいと思ったから。

## 志望動機②（Why METI?）

経済産業省はミッションである国富の拡大に何らかの形でつながるのであれば何でもできるというイメージがあった。実際、上に挙げたようなバイオが抱える問題それぞれに特化して関われる省庁はほかにもあるかもしれないが、すべてに関われるのは経済産業省だけだと感じた。

## 民間就活もやった方がいいか？

民間企業で働く選択肢が自分の中に残っているのであれば自信につながるのやっておいた方がいいと思います。私自身は民間企業で働くモチベーションが低かったこと、また研究で忙しく、プライベートでもトラブルが続いていたことを理由に民間就活はほとんどしませんでした。しかし理系院生はかなり早い段階で内々定をとってしまう学生が多いので、それがプレッシャーになるという人、面接やグループディスカッションの経験がない状態で官庁訪問に挑むのは不安だという人は民間就活もやっておくと安心できると思います。ただそれで勉強できる時間が減ったり、参加したいイベントに出席できなかつたりすると元も子もないので、無理のない範囲でやるのが一番です！

院卒、化学・生物・薬学区分

58

みけ

東京大学大学院工学系研究科  
バイオエンジニアリング専攻

> 学生団体  
 ♥ 産業振興全般、バイオ・ヘルスケア、通商  
 🏢 厚生労働省/  
 コンサル・シンクタンク、メーカー

## 志望動機①（Why public?）

誰かの幸福を一義的な目的として、そうした思いを持った人と一緒に働きたいと思ったから。日本全体に働きかけることができる仕事の規模の大きさに惹かれたから。

## 志望動機②（Why METI?）

霞ヶ関のDriving Forceであり、社会を変えていく原点に最も近い場所であると感じたから。日本の国民の生活を持続的に守っていくためには、経済の立て直しが不可欠であると感じたから。

## 研究等とどうバランスを取るか？

基本的には研究優先でいいです！研究室の雰囲気にもよりますが、オンラインを積極的に活用する（実験しながら説明会に参加したことも...）、ESや企業研究は夜や土日、実験の空き時間をうまく使う、なるべく研究を頑張る姿勢を見せて研究室でも居場所を作るなどは気にしていました！就活で生きる場面も絶対あるので、頑張ってください！

院卒、デジタル区分

59

SN

奈良先端科学技術大学院大学  
先端科学技術研究科先端科学技術専攻# 地方大学  
# 海外経験  
# 紆余曲折

なし  
国際標準化  
総務省（情報通信）、外務省

## 志望動機①（Why public?）

なんとなく外務省の説明会に参加してみた際、国の未来を真剣に考える職員の方の姿に感銘を受け、自分も国のために働きたいと思ったからです。

## 志望動機②（Why METI?）

デジタルx国際的x国のためになる仕事をしたいと思っていたところ、経産省を見つけました。官庁訪問を通して、自分の中に日本企業を勝たせたいという思いがあることに気づき、その上で一番手札が多いのが経産省だったため、経産省を志望しました。

## 研究と就活の両立は？

全くできませんでした！公務員試験の3週間前くらいまでは100%研究で、そこから官庁訪問が終わるまで100%就活でした。100%就活は研究室によっては難しいかもしれませんが、公務員試験と官庁訪問のスケジュール(ほとんど知られていない&自分も知らなかった)を研究室内でしっかりアピールして、周囲の理解を得ておくのが大切だと感じました。

院卒、デジタル区分

60

じゅん

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻

# 体育会  
# 海外経験

弓術部、全日本学生弓道連盟  
イノベーション政策、産学連携、コンテンツ産業  
コンサル・シンクタンク、エンジニア

## 志望動機①（Why public?）

もともと科学技術に興味があったのですが、研究を進めていく中で技術そのものより、それが社会に実装されていく過程や、生活への具体的な影響に興味がありました。その中でも特に国の果たす役割に魅力を感じて国家公務員を志望しました。

## 志望動機②（Why METI?）

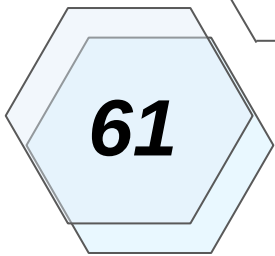
科学技術の社会実装の第一の担い手は企業だと考えています。その企業と深く関わり、活動の方針に大きく影響を与えられる経産省でこそ、一番インパクトのある仕事ができると思い経産省を志望しました。

## 就職活動でやっておけばよかったことは？

もう少し民間の選考も受けておけばよかったなと思ってます。研究とのバランスは悩ましいですが、インターンのような形で企業に受け入れてもらえるのは学生のうちだと思うので、余裕があれば馴染みのない業種もみてみるのがおすすめです！



院卒、デジタル区分



ぱんだ

東京工業大学情報理工学院情報工学系

# 海外経験  
# 紆余曲折



- 水泳部マネージャー
- 情報経済、ヘルスケア産業
- 総務省（情報通信）、デジタル庁/ Sler、コンサル

志望動機①（Why public?）

希望が持てる社会にしたいと思い、そこに真正面から向き合えるのは国家公務員だと思ったからです。民間就活を進めるなかで、民間企業だと自社の領域や強みを考慮する必要があること、制度そのものに課題があった場合に解決手段を持っていないことを実感し、日本の目指すべき姿から考えていけるのは国家公務員なのかなと思いました。また、政策ワークショップに参加し、とてもワクワクしたのも志望したきっかけです。

志望動機②（Why METI?）

日本のサービスによって世界が繋がれるといいなと考えていました。そのサービスのある1つの分野に限ることなく横断的に考えることができ、さらには人材の確保までアプローチできるのは経済産業省だと思いました。

新設されたデジタル区分の対策法は？

工学区分の該当分野の過去問を解いていました。応用情報技術者試験の受験経験も役に立ったように思います。

経済産業省  
総合職  
内定者BOOK  
2023

経済産業省  
総合職  
内定者BOOK  
2023

経済産業省  
総合職  
内定者BOOK  
2023

経済産業省  
総合職  
内定者BOOK  
2023



最後までご覧いただき  
ありがとうございました

みなさんを **経済産業省** にて一足先  
お待ちしております

令和5年度入省予定内定者一同

